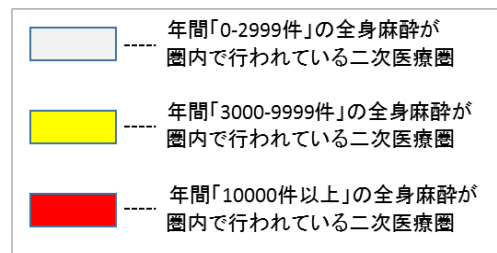
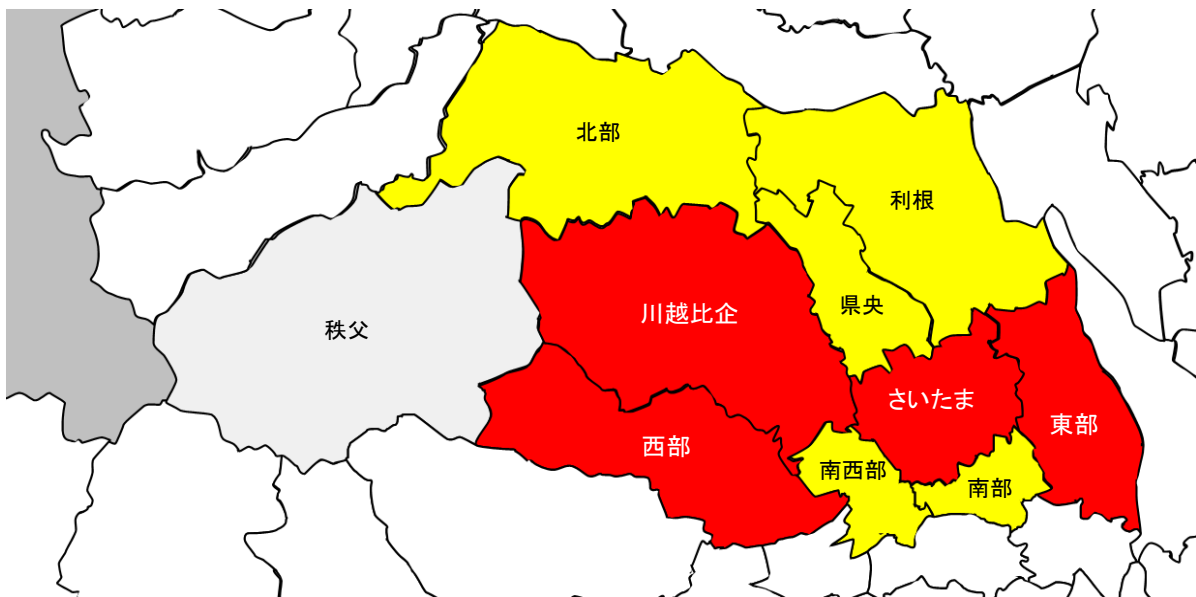


11. 埼玉県

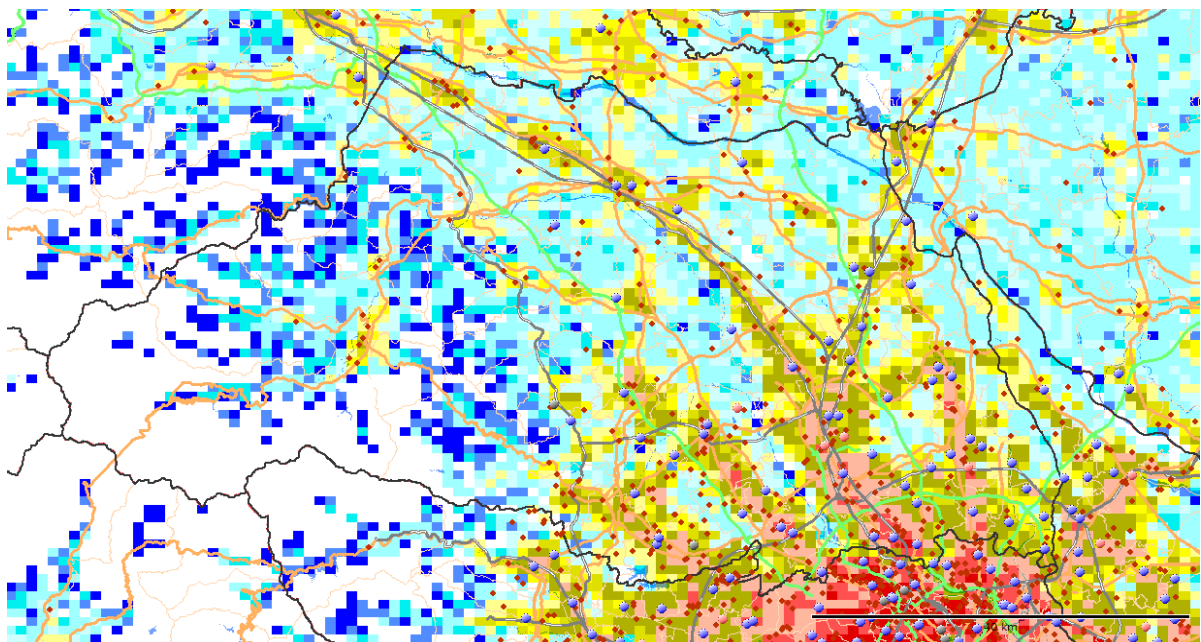


目次

埼玉県	11	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	11	-	8
1. 南部医療圏	11	-	26
2. 南西部医療圏	11	-	31
3. 東部医療圏	11	-	36
4. さいたま医療圏	11	-	41
5. 県央医療圏	11	-	46
6. 川越比企医療圏	11	-	51
7. 西部医療圏	11	-	56
8. 利根医療圏	11	-	61
9. 北部医療圏	11	-	66
10. 秩父医療圏	11	-	71

11. 埼玉県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(埼玉県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 埼玉県は、総人口約7267千人(2015年)、面積3798km²、人口密度は1913人/km²である。

*人口の将来予測： 埼玉県の総人口は2025年に6991千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に6305千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の766千人が、2025年にかけて1177千人へと増加し(2015年比+54%)、2040年には1198千人へと増加する(2025年比+2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 埼玉県の一人当たり医療費(国保)は315千円(偏差値43)、介護給付費は198千円(偏差値35)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 埼玉県の一人当たり急性期医療密度指数²は0.68、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.67で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が41(病院医師数42、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は40と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は41で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は38で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 埼玉県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、91828人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が48314床(偏差値51)、高齢者住宅等が43514床(偏差値59)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、55697人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム63、軽費ホーム49、グループホーム44、サ高住56である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、7636人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-20%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

埼玉県の総人口は、2005年7054243人が、2015年に7266534人と3%増加し、2025年の人口が6991046人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に20%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

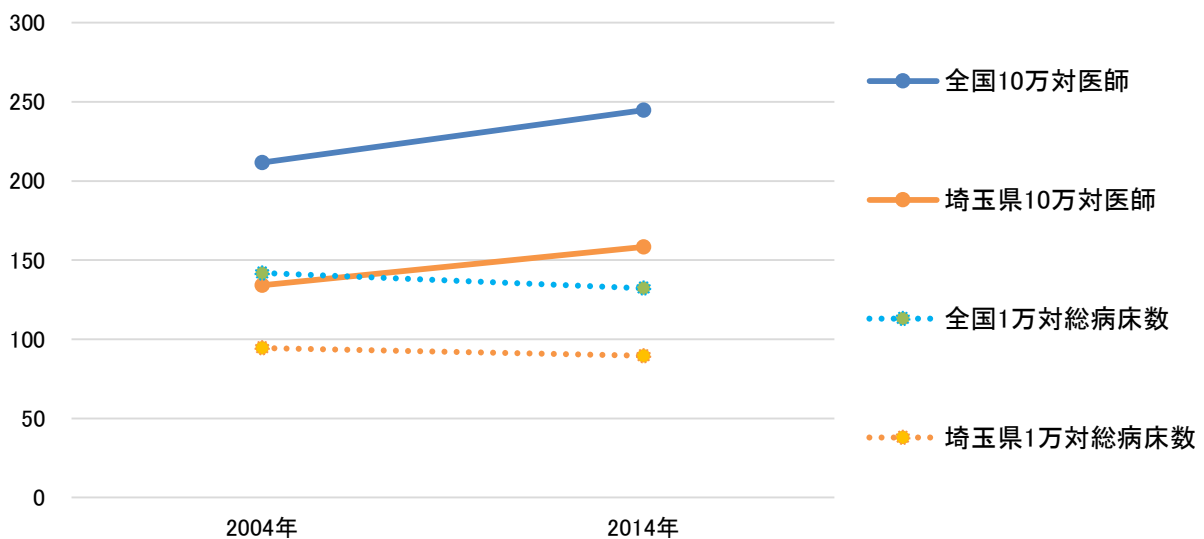
2004年の病院数が363(人口10万人当たり5.1病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2014年に341(人口10万人当たり4.7病院(全国平均6.7)偏差値45)となり、10年間で22病院が減少した。

2004年の診療所数が3738(人口10万人当たり53診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2014年に4148(人口10万人当たり57診療所(全国平均79)偏差値38)と、410診療所が増加した。

2004年の総病床数が66638床(人口1万人当たり94(全国平均142)偏差値42)であったが、2014年に65056床(人口1万人当たり90(全国平均132)偏差値42)と、1582床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

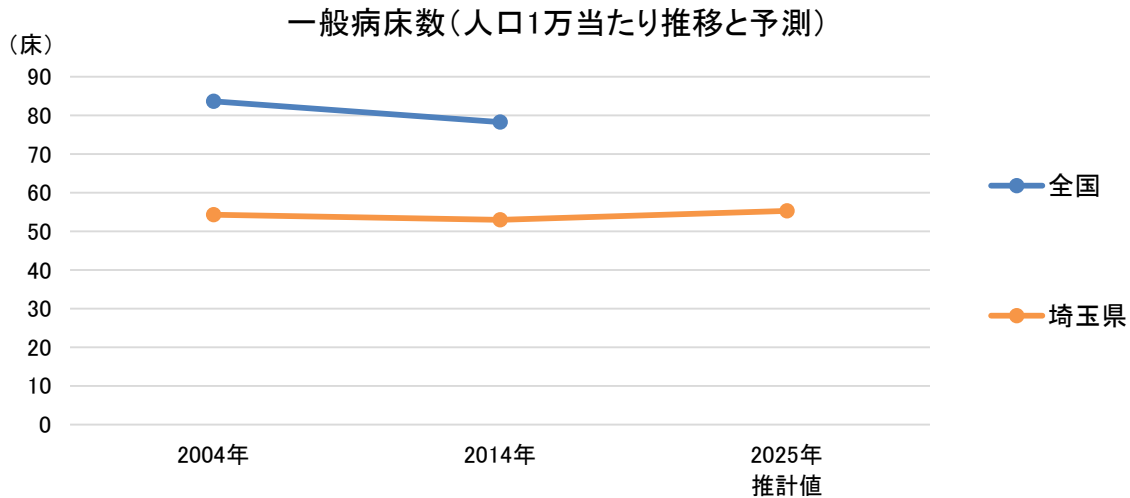
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が9454人(人口10万人当たり134人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に11503人(人口10万人当たり158人(全国平均245人)偏差値41)と、2049人の増加、率にして22%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



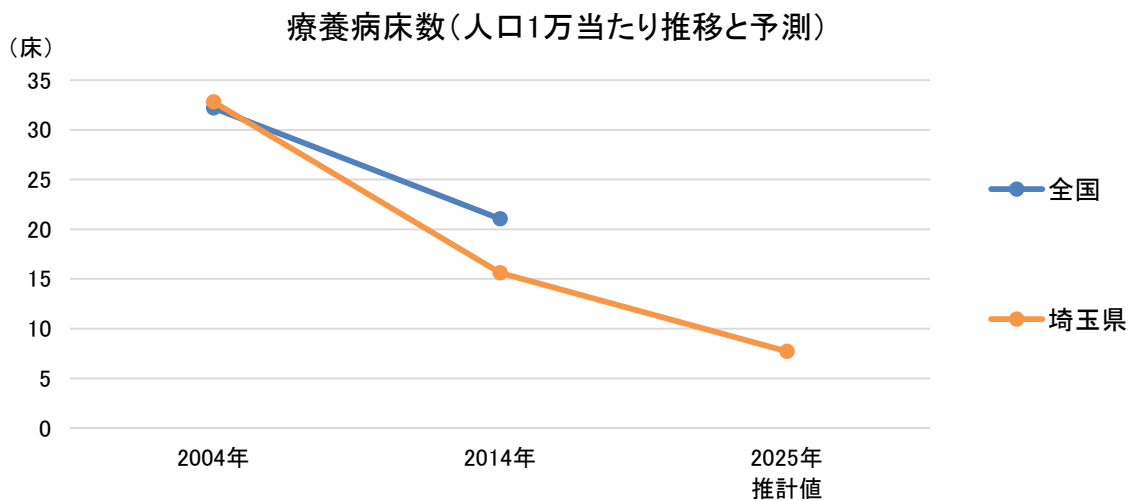
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が38328床(人口1万人当たり54(全国平均84)偏差値40)であったが、2014年に38499床(人口1万人当たり53(全国平均78)偏差値41)と、171床の増加、率にして1%未満の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には38686床(2025年の推計人口1万人当たり55)になることが予想される。



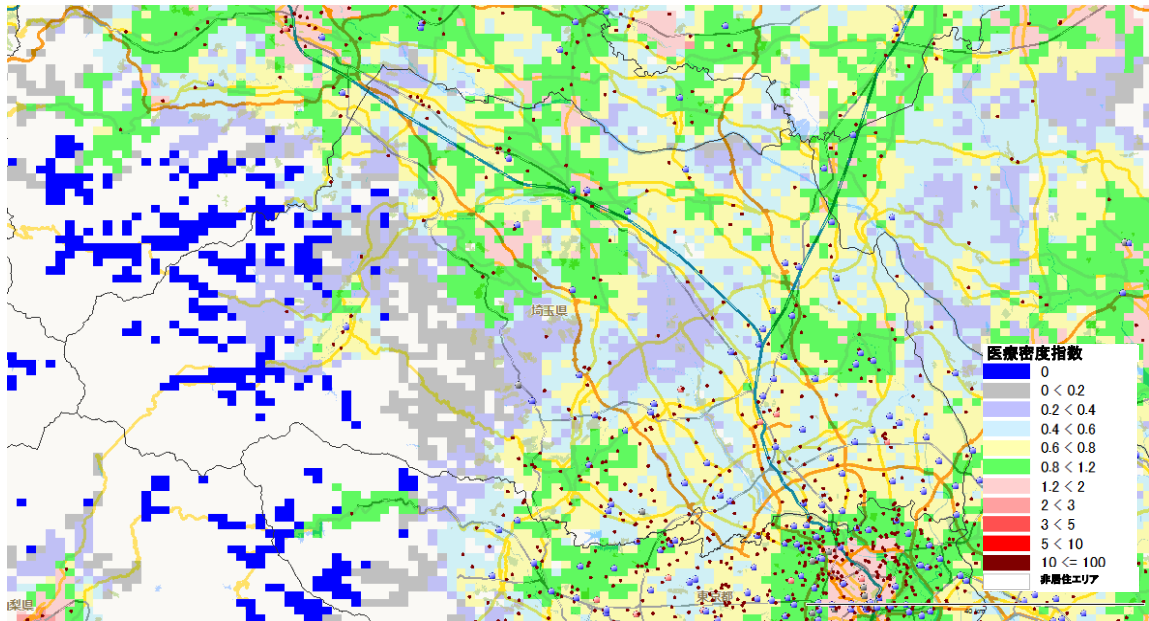
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が14564床(75歳以上1000人当たり33(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に11961床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値45)と、2603床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には9099床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。



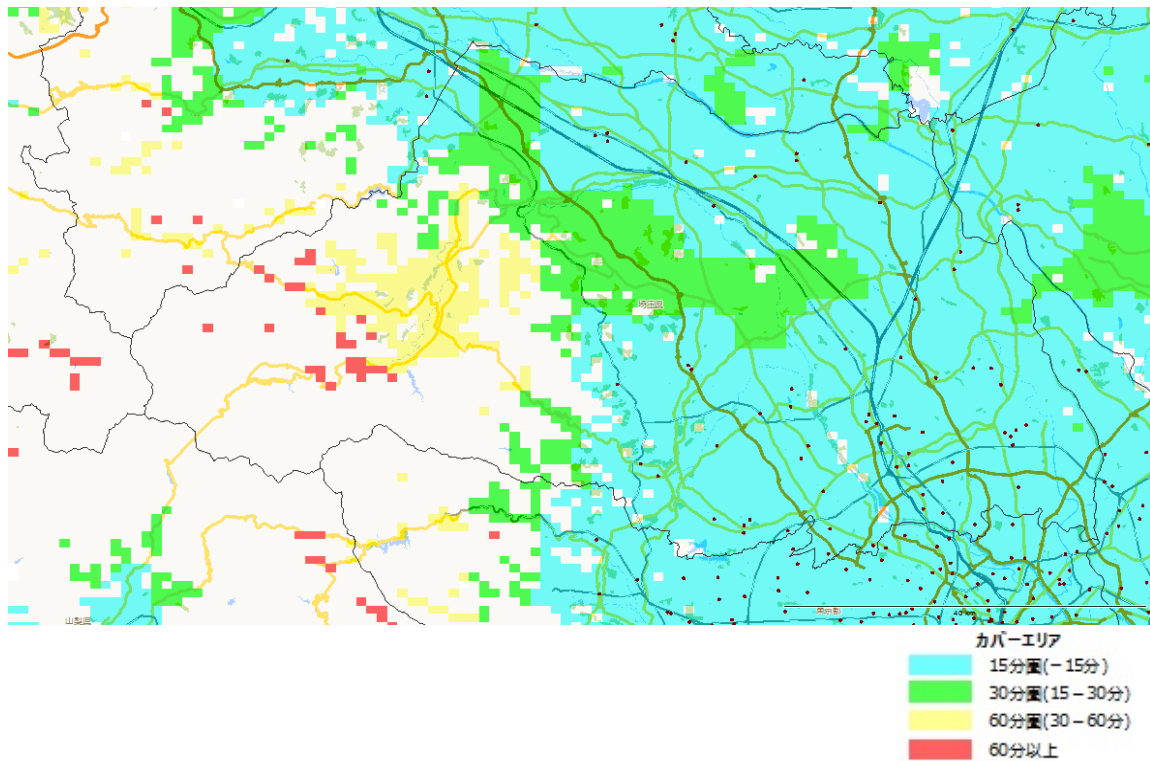
(埼玉県) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表11-1 急性期医療密度指数マップ



図表11-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



11.埼玉県(2017年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資_図表 11-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
埼玉県	7,267	5位	3,798	39位	1,913.4		25%	6,991	6,305	766	1,177	1,198	-4%	-10%	54%	2%
南部	787	11%	85	2%	9,226.1	大都市型	21%	766	723	74	106	110	-3%	-6%	43%	4%
南西部	709	10%	111	3%	6,394.3	大都市型	22%	699	658	69	108	112	-1%	-6%	57%	4%
東部	1,140	16%	250	7%	4,566.4	大都市型	25%	1,089	975	112	187	179	-4%	-10%	67%	-4%
さいたま	1,264	17%	217	6%	5,813.0	大都市型	22%	1,241	1,168	127	191	211	-2%	-6%	50%	10%
県央	529	7%	173	5%	3,059.7	大都市型	26%	510	453	57	90	89	-4%	-11%	58%	-1%
川越比企	800	11%	627	16%	1,276.9	地方都市型	26%	762	671	87	138	135	-5%	-12%	59%	-2%
西部	778	11%	406	11%	1,915.8	地方都市型	26%	754	665	87	142	146	-3%	-12%	63%	3%
利根	647	9%	474	12%	1,365.5	地方都市型	27%	604	510	75	113	112	-7%	-16%	51%	-1%
北部	510	7%	562	15%	907.3	地方都市型	26%	478	409	61	84	87	-6%	-14%	38%	4%
秩父	102	1%	893	24%	113.9	過疎地域型	32%	89	70	17	18	18	-13%	-21%	6%	0%

出典 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
<人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
<面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日

資_図表 11-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
埼玉県	0.68	0.67	79,620	95,768	-20.3%
南部	0.72	0.46	8,967	8,600	4.1%
南西部	0.64	0.65	6,970	8,829	-26.7%
東部	0.66	0.45	11,065	15,224	-37.6%
さいたま	0.65	0.48	16,479	15,512	5.9%
県央	0.59	0.51	5,432	7,321	-34.8%
川越比企	0.64	0.90	7,501	11,191	-49.2%
西部	0.74	1.42	7,908	11,554	-46.1%
利根	0.74	0.58	7,292	9,203	-26.2%
北部	0.77	0.77	6,342	6,835	-7.8%
秩父	0.43	0.81	1,664	1,498	10.0%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資_図表 11-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	343	(44)	1.000	131	(30)	1.000	188	(19)	1.000	253	(35)
埼玉県	315	43	0.919	110	43	0.846	181	46	0.963	198	35
南部	286	37	0.917	103	41	0.867	162	36	0.948	215	39
南西部	301	40	0.911	110	43	0.879	167	39	0.922	184	31
東部	308	42	0.913	109	43	0.854	175	43	0.944	177	29
さいたま	315	44	0.923	102	40	0.788	188	50	1.004	226	43
県央	329	47	0.913	110	43	0.806	194	53	0.980	185	31
川越比企	326	46	0.923	116	45	0.863	186	49	0.962	185	31
西部	312	43	0.892	111	43	0.832	178	44	0.927	186	31
利根	337	48	0.933	118	46	0.862	194	53	0.980	191	32
北部	326	46	0.945	117	45	0.890	188	50	0.992	230	44
秩父	344	50	0.959	118	46	0.860	203	58	1.032	247	48
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報) 平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)										

※後期高齢者の医療費については、資_図表11-35を参照。

資_図表 11-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,480		6.7	(4.1)	100,995		79	(18.8)
埼玉県	343	4.0%	4.7	45	4,180	4.1%	58	38
南部	28	8%	3.6	42	435	10%	55	37
南西部	29	8%	4.1	44	347	8%	49	34
東部	49	14%	4.3	44	575	14%	50	35
さいたま	37	11%	2.9	41	878	21%	69	45
県央	19	6%	3.6	42	285	7%	54	36
川越比企	50	15%	6.2	49	444	11%	55	37
西部	55	16%	7.1	51	426	10%	55	37
利根	33	10%	5.1	46	337	8%	52	35
北部	34	10%	6.7	50	366	9%	72	46
秩父	9	3%	8.9	55	87	2%	86	53
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 11-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	100,995		79	(18.8)	93,034		73	(18.4)	7,961		6.3	(6.4)
埼玉県	4,180	4.1%	58	38	3,949	4.2%	54	40	231	2.9%	3.2	45
南部	435	10%	55	37	416	11%	53	39	19	8%	2.4	44
南西部	347	8%	49	34	331	8%	47	36	16	7%	2.3	44
東部	575	14%	50	35	536	14%	47	36	39	17%	3.4	46
さいたま	878	21%	69	45	842	21%	67	46	36	16%	2.8	45
県央	285	7%	54	36	265	7%	50	37	20	9%	3.8	46
川越比企	444	11%	55	37	416	11%	52	38	28	12%	3.5	46
西部	426	10%	55	37	402	10%	52	38	24	10%	3.1	45
利根	337	8%	52	35	316	8%	49	37	21	9%	3.2	45
北部	366	9%	72	46	344	9%	67	47	22	10%	4.3	47
秩父	87	2%	86	53	81	2%	80	54	6	3%	5.9	49
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 11-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院+診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
埼玉県	62,044	4.0%	854	42	2,866	2.7%	39	46	64,910	3.9%	893	42
南部	5,080	8%	646	38	281	10%	36	45	5,361	8%	682	39
南西部	4,861	8%	685	39	167	6%	24	44	5,028	8%	709	39
東部	9,231	15%	810	41	438	15%	38	45	9,669	15%	848	42
さいたま	7,837	13%	620	38	383	13%	30	45	8,220	13%	650	38
県央	3,975	6%	751	40	302	11%	57	47	4,277	7%	808	41
川越比企	9,597	15%	1,200	49	320	11%	40	46	9,917	15%	1,240	49
西部	9,634	16%	1,238	50	305	11%	39	46	9,939	15%	1,277	49
利根	5,661	9%	875	43	309	11%	48	46	5,970	9%	922	43
北部	5,291	9%	1,037	46	285	10%	56	47	5,576	9%	1,093	46
秩父	877	1%	863	43	76	3%	75	49	953	1%	938	43
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 11-7 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
埼玉県	35,624	4.0%	490	41	11,939	3.6%	164	46	14,278	4.2%	196	47
南部	3,206	9%	408	37	866	7%	110	43	988	7%	126	44
南西部	2,917	8%	411	37	838	7%	118	43	1,106	8%	156	45
東部	5,456	15%	478	40	1,691	14%	148	45	2,084	15%	183	46
さいたま	5,361	15%	424	38	1,315	11%	104	43	1,131	8%	89	42
県央	2,464	7%	466	40	769	6%	145	45	742	5%	140	44
川越比企	5,053	14%	632	47	1,919	16%	240	49	2,615	18%	327	53
西部	4,522	13%	581	45	2,595	22%	333	54	2,517	18%	323	53
利根	3,542	10%	547	43	685	6%	106	43	1,350	9%	209	47
北部	2,646	7%	519	42	964	8%	189	47	1,622	11%	318	52
秩父	457	1%	450	39	297	2%	292	52	123	1%	121	43
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 11-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床				地域包括ケア病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
埼玉県	2,661	3.6%	37	46	1,218	2.0%	17	43
南部	262	10%	33	45	141	12%	18	43
南西部	168	6%	24	43	73	6%	10	41
東部	753	28%	66	52	138	11%	12	42
さいたま	164	6%	13	41	96	8%	8	41
県央	185	7%	35	45	8	1%	2	40
川越比企	452	17%	56	50	256	21%	32	45
西部	342	13%	44	47	167	14%	21	43
利根	239	9%	37	46	130	11%	20	43
北部	96	4%	19	42	160	13%	31	45
秩父	0	0%	0	38	49	4%	48	48
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

11.埼玉県(2017年版)

資_図表 11-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
埼玉県	14,408	11,870	241	47,516	23,908	11,439	33.2%	42	2.1%	47
南部	1,073	1,053	0	4,052	2,102	962	33.4%	42	0.0%	46
南西部	350	350	0	4,511	2,538	867	12.1%	33	0.0%	46
東部	1,283	1,283	0	7,821	4,197	1,640	23.4%	38	0.0%	46
さいたま	2,391	2,116	0	5,501	3,278	1,275	39.2%	45	0.0%	46
県央	1,185	623	0	2,790	1,799	811	25.7%	39	0.0%	46
川越比企	2,679	1,870	84	6,832	3,097	1,835	37.6%	44	4.4%	48
西部	2,034	1,988	0	7,605	2,835	2,279	41.2%	45	0.0%	46
利根	1,161	1,077	0	4,488	2,473	665	30.3%	41	0.0%	46
北部	1,992	1,300	107	3,299	1,342	858	49.2%	49	11.1%	51
秩父	260	210	50	617	247	247	46.0%	47	16.8%	53
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 11-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
埼玉県	109,548	3.9%	1,508	43	51,384	5.0%	707	47
南部	10,236	9%	1,301	41	6,516	13%	828	51
南西部	9,408	9%	1,326	41	4,812	9%	678	46
東部	17,784	16%	1,560	44	8,364	16%	734	47
さいたま	16,308	15%	1,290	41	6,732	13%	533	40
県央	10,116	9%	1,912	47	2,856	6%	540	41
川越比企	16,116	15%	2,014	48	7,956	15%	994	57
西部	16,284	15%	2,092	49	5,616	11%	721	47
利根	6,984	6%	1,079	39	4,932	10%	762	48
北部	5,388	5%	1,056	39	2,916	6%	572	42
秩父	924	1%	909	37	684	1%	673	45
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 11-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	345,356		272	(89)	214,678		169	(65)	130,678		103	(31)
埼玉県	14,025	4.1%	193	41	8,631	4.0%	119	42	5,395	4.1%	74	41
南部	1,353	10%	172	39	816	9%	104	40	538	10%	68	39
南西部	1,067	8%	150	36	616	7%	87	37	452	8%	64	37
東部	2,096	15%	184	40	1,331	15%	117	42	765	14%	67	38
さいたま	2,492	18%	197	42	1,398	16%	111	41	1,094	20%	87	45
県央	993	7%	188	41	604	7%	114	42	389	7%	73	40
川越比企	2,095	15%	262	49	1,486	17%	186	53	609	11%	76	41
西部	1,885	13%	242	47	1,259	15%	162	49	626	12%	80	43
利根	973	7%	150	36	561	7%	87	37	412	8%	64	37
北部	877	6%	172	39	474	5%	93	38	403	7%	79	42
秩父	195	1%	191	41	86	1%	85	37	109	2%	107	51
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 11-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
埼玉県	683	4.4%	9.4	45	519	4.2%	7.1	44	415	4.0%	5.7	43
南部	57	8%	7.2	42	58	11%	7.4	45	47	11%	6.0	44
南西部	38	6%	5.4	39	40	8%	5.6	41	25	6%	3.5	37
東部	94	14%	8.2	44	63	12%	5.5	40	63	15%	5.5	43
さいたま	137	20%	10.8	48	132	25%	10.4	51	80	19%	6.3	45
県央	42	6%	7.9	43	26	5%	4.9	39	21	5%	4.0	38
川越比企	113	17%	14.1	53	80	15%	10.0	50	71	17%	8.9	52
西部	97	14%	12.5	50	59	11%	7.6	45	52	13%	6.7	46
利根	48	7%	7.4	42	35	7%	5.4	40	24	6%	3.7	38
北部	50	7%	9.8	46	23	4%	4.5	38	27	7%	5.3	42
秩父	7	1%	6.9	42	3	1%	3.0	35	5	1%	4.9	41
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

11.埼玉県(2017年版)

資_図表 11-13 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
埼玉県	226	4.3%	3.1	45	404	4.3%	5.6	44	305	4.1%	4.2	43
南部	25	11%	3.2	45	38	9%	4.8	42	25	8%	3.2	39
南西部	18	8%	2.5	42	32	8%	4.5	41	28	9%	3.9	42
東部	32	14%	2.8	43	53	13%	4.6	41	40	13%	3.5	41
さいたま	51	23%	4.0	49	97	24%	7.7	51	62	20%	4.9	46
県央	9	4%	1.7	38	28	7%	5.3	43	32	10%	6.0	51
川越比企	37	16%	4.6	52	48	12%	6.0	46	42	14%	5.2	48
西部	23	10%	3.0	44	49	12%	6.3	46	40	13%	5.1	47
利根	19	8%	2.9	44	37	9%	5.7	45	19	6%	2.9	38
北部	9	4%	1.8	38	17	4%	3.3	37	13	4%	2.5	37
秩父	3	1%	3.0	44	5	1%	4.9	42	4	1%	3.9	42
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 11-14 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
埼玉県	319	3.8%	4.4	44	807	4.0%	11.1	43	571	3.7%	7.9	40
南部	19	6%	2.4	38	67	8%	8.5	39	60	11%	7.6	40
南西部	25	8%	3.5	41	64	8%	9.0	40	42	7%	5.9	36
東部	49	15%	4.3	44	117	14%	10.3	42	74	13%	6.5	37
さいたま	48	15%	3.8	42	134	17%	10.6	42	94	16%	7.4	39
県央	28	9%	5.3	46	70	9%	13.2	46	49	9%	9.3	44
川越比企	46	14%	5.7	48	112	14%	14.0	47	96	17%	12.0	50
西部	54	17%	6.9	51	140	17%	18.0	53	61	11%	7.8	40
利根	13	4%	2.0	37	44	5%	6.8	37	49	9%	7.6	40
北部	33	10%	6.5	50	50	6%	9.8	41	40	7%	7.8	40
秩父	4	1%	3.9	43	9	1%	8.9	40	6	1%	5.9	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 11-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
埼玉県	217	3.8%	3.0	43	262	4.1%	3.6	44	163	3.1%	2.2	43
南部	21	10%	2.7	41	24	9%	3.1	42	13	8%	1.7	41
南西部	17	8%	2.4	40	15	6%	2.1	38	7	4%	1.0	39
東部	36	17%	3.2	43	42	16%	3.7	44	14	9%	1.2	40
さいたま	41	19%	3.2	44	35	13%	2.8	40	35	21%	2.8	45
県央	16	7%	3.0	43	20	8%	3.8	45	16	10%	3.0	46
川越比企	23	11%	2.9	42	36	14%	4.5	48	24	15%	3.0	46
西部	29	13%	3.7	46	45	17%	5.8	53	38	23%	4.9	52
利根	16	7%	2.5	40	16	6%	2.5	39	7	4%	1.1	39
北部	15	7%	2.9	42	26	10%	5.1	50	9	6%	1.8	42
秩父	3	1%	3.0	42	3	1%	3.0	41	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 11-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
埼玉県	267	4.1%	3.7	45	56	3.6%	0.8	45	112	3.4%	1.5	44
南部	24	9%	3.1	43	6	11%	0.8	45	10	9%	1.3	42
南西部	27	10%	3.8	45	1	2%	0.1	38	6	5%	0.8	40
東部	38	14%	3.3	44	10	18%	0.9	46	18	16%	1.6	44
さいたま	47	18%	3.7	45	8	14%	0.6	44	20	18%	1.6	44
県央	19	7%	3.6	45	6	11%	1.1	49	7	6%	1.3	43
川越比企	36	13%	4.5	48	10	18%	1.2	50	22	20%	2.7	51
西部	41	15%	5.3	50	9	16%	1.2	49	19	17%	2.4	49
利根	19	7%	2.9	43	3	5%	0.5	42	5	4%	0.8	39
北部	14	5%	2.7	42	3	5%	0.6	43	5	4%	1.0	41
秩父	2	1%	2.0	39	0	0%	0	37	0	0%	0	35
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

11.埼玉県(2017年版)

資_図表 11-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
埼玉県	75	3.8%	1.0	45	67	2.8%	0.9	43
南部	6	8%	0.8	43	8	12%	1.0	44
南西部	3	4%	0.4	40	2	3%	0.3	38
東部	6	8%	0.5	41	8	12%	0.7	41
さいたま	18	24%	1.4	49	7	10%	0.6	40
県央	9	12%	1.7	51	4	6%	0.8	42
川越比企	16	21%	2.0	54	16	24%	2.0	51
西部	10	13%	1.3	48	12	18%	1.5	48
利根	2	3%	0.3	39	8	12%	1.2	45
北部	4	5%	0.8	43	2	3%	0.4	39
秩父	1	1%	1.0	45	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 11-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
埼玉県	42,197	3.8%	581	40	35,444	3.9%	488	40	6,753	3.4%	93	42
南部	3,709	9%	472	36	3,092	9%	393	36	617	9%	78	40
南西部	3,235	8%	456	35	2,743	8%	387	36	492	7%	69	38
東部	6,056	14%	531	38	5,141	15%	451	39	915	14%	80	40
さいたま	6,691	16%	529	38	5,499	16%	435	38	1,192	18%	94	42
県央	3,213	8%	607	41	2,629	7%	497	41	584	9%	110	44
川越比企	6,311	15%	789	47	5,407	15%	676	48	904	13%	113	44
西部	5,451	13%	700	44	4,720	13%	606	45	731	11%	94	42
利根	3,702	9%	572	39	3,143	9%	486	40	558	8%	86	41
北部	3,208	8%	629	41	2,629	7%	515	41	579	9%	113	44
秩父	623	1%	613	41	442	1%	435	38	181	3%	178	53
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 11-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
埼玉県	5,206	4.1%	72	45	14,190	4.9%	195	47
南部	426	8%	54	42	1,273	9%	162	43
南西部	424	8%	60	43	1,141	8%	161	43
東部	998	19%	88	48	1,924	14%	169	44
さいたま	537	10%	42	39	3,377	24%	267	54
県央	391	8%	74	45	988	7%	187	46
川越比企	797	15%	100	50	1,857	13%	232	51
西部	850	16%	109	52	1,400	10%	180	45
利根	447	9%	69	44	1,075	8%	166	43
北部	270	5%	53	41	1,020	7%	200	47
秩父	67	1%	66	44	135	1%	133	40
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 11-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
埼玉県	420	3.2%	0.5	44	45	3.7%	0.1	47	374	3.6%	0.5	42
南部	41	10%	0.6	44	6	13%	0.1	51	38	10%	0.5	44
南西部	27	6%	0.4	40	5	11%	0.1	50	37	10%	0.5	44
東部	47	11%	0.4	41	7	16%	0.1	48	58	16%	0.5	44
さいたま	133	32%	1.0	55	4	9%	0.0	43	63	17%	0.5	43
県央	34	8%	0.6	45	1	2%	0.0	41	23	6%	0.4	38
川越比企	38	9%	0.4	41	7	16%	0.1	51	40	11%	0.5	41
西部	43	10%	0.5	42	6	13%	0.1	49	47	13%	0.5	45
利根	24	6%	0.3	38	2	4%	0.0	42	32	9%	0.4	39
北部	31	7%	0.5	43	6	13%	0.1	54	30	8%	0.5	42
秩父	2	0%	0.1	34	1	2%	0.1	47	6	2%	0.4	36
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資_図表 11-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
埼玉県	91,828	5.5%	120	59	48,314	4.9%	63	51	43,514	6.4%	57	59
南部	10,261	11%	139	71	4,436	9%	60	49	5,825	13%	79	73
南西部	8,296	9%	119	59	4,372	9%	63	51	3,924	9%	56	59
東部	12,950	14%	116	57	5,984	12%	54	44	6,966	16%	62	63
さいたま	18,710	20%	147	76	8,217	17%	65	53	10,493	24%	83	75
県央	6,084	7%	106	51	4,218	9%	73	60	1,866	4%	33	44
川越比企	8,839	10%	102	49	4,762	10%	55	45	4,077	9%	47	53
西部	8,913	10%	102	49	5,416	11%	62	51	3,497	8%	40	49
利根	8,064	9%	108	52	5,359	11%	71	58	2,705	6%	36	46
北部	7,962	9%	130	66	4,286	9%	70	57	3,676	8%	60	61
秩父	1,749	2%	103	50	1,264	3%	75	61	485	1%	29	41
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 11-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
埼玉県	16,668	4.6%	22	49	29,976	5.3%	39	54	1,670	2.6%	2.2	46
南部	1,201	7%	16	39	2,920	10%	40	55	315	19%	4.3	51
南西部	2,002	12%	29	61	2,298	8%	33	48	72	4%	1.0	43
東部	2,149	13%	19	44	3,492	12%	31	46	343	21%	3.1	48
さいたま	2,820	17%	22	49	5,141	17%	40	56	256	15%	2.0	45
県央	1,644	10%	29	60	2,574	9%	45	60	0	0%	0	40
川越比企	1,641	10%	19	44	3,060	10%	35	50	61	4%	0.7	42
西部	1,936	12%	22	49	2,946	10%	34	49	534	32%	6.1	55
利根	1,524	9%	20	46	3,835	13%	51	67	0	0%	0	40
北部	1,370	8%	22	50	2,865	10%	47	62	51	3%	0.8	42
秩父	381	2%	23	50	845	3%	50	65	38	2%	2.2	46
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 11-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア		偏差値 *全国は標準偏差	軽費ホーム	全国シェア		偏差値 *全国は標準偏差	グループホーム	全国シェア		偏差値 *全国は標準偏差
		75歳以上 1,000人 当り	県内 シェア			75歳以上 1,000人 当り	県内 シェア			75歳以上 1,000人 当り	県内 シェア	
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
埼玉県	21,597	9.4%	28.2	63	951	4.1%	1.2	49	6,684	3.4%	8.7	44
南部	3,752	17%	50.8	84	0	0%	0	43	758	11%	10.3	47
南西部	1,735	8%	25.0	60	59	6%	0.8	47	546	8%	7.9	43
東部	3,628	17%	32.5	67	50	5%	0.4	45	987	15%	8.8	44
さいたま	6,677	31%	52.6	85	124	13%	1.0	48	943	14%	7.4	42
県央	731	3%	12.7	49	0	0%	0	43	483	7%	8.4	44
川越比企	1,450	7%	16.7	52	50	5%	0.6	46	855	13%	9.9	46
西部	1,528	7%	17.6	53	149	16%	1.7	51	452	7%	5.2	38
利根	1,050	5%	14.0	50	150	16%	2.0	53	683	10%	9.1	45
北部	876	4%	14.3	50	319	34%	5.2	68	797	12%	13.0	52
秩父	170	1%	10.0	46	50	5%	3.0	57	180	3%	10.6	47
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 11-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国シェア		偏差値 *全国は標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国シェア		偏差値 *全国は標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国シェア		偏差値 *全国は標準偏差
		75歳以上 1,000人 当り	県内 シェア			75歳以上 1,000人 当り	県内 シェア			75歳以上 1,000人 当り	県内 シェア	
全国	232,953		14.4	(7.2)	15,364		1.0	(1.7)	217,589		13.5	(6.7)
埼玉県	14,282	6.1%	18.6	56	2,074	13.5%	2.7	60	12,208	5.6%	15.9	54
南部	1,315	9%	17.8	55	21	1%	0.3	46	1,294	11%	17.5	56
南西部	1,584	11%	22.8	62	258	12%	3.7	66	1,326	11%	19.1	58
東部	2,301	16%	20.6	59	416	20%	3.7	67	1,885	15%	16.9	55
さいたま	2,749	19%	21.7	60	518	25%	4.1	69	2,231	18%	17.6	56
県央	652	5%	11.4	46	0	0%	0	44	652	5%	11.4	47
川越比企	1,722	12%	19.8	58	384	19%	4.4	71	1,338	11%	15.4	53
西部	1,368	10%	15.7	52	363	18%	4.2	69	1,005	8%	11.6	47
利根	822	6%	11.0	45	50	2%	0.7	48	772	6%	10.3	45
北部	1,684	12%	27.6	68	64	3%	1.0	51	1,620	13%	26.5	69
秩父	85	1%	5.0	37	0	0%	0	44	85	1%	5.0	37
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 11-25 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
					看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	165,392		10.3	(2.3)	119,201		7.4	(2.1)	46,191		2.9	(1.0)
埼玉県	6,955	4.2%	9.1	45	5,142	4.3%	6.7	47	1,812	3.9%	2.4	45
南部	757	11%	10.2	50	552	11%	7.5	50	205	11%	2.8	49
南西部	598	9%	8.6	43	441	9%	6.3	45	157	9%	2.3	44
東部	1,008	14%	9.0	45	717	14%	6.4	45	291	16%	2.6	47
さいたま	1,366	20%	10.8	52	1,024	20%	8.1	53	343	19%	2.7	48
県央	448	6%	7.8	40	345	7%	6.0	43	103	6%	1.8	39
川越比企	684	10%	7.9	40	468	9%	5.4	40	216	12%	2.5	46
西部	805	12%	9.3	46	611	12%	7.0	48	195	11%	2.2	43
利根	582	8%	7.8	39	442	9%	5.9	43	140	8%	1.9	40
北部	561	8%	9.2	45	423	8%	6.9	48	138	8%	2.3	44
秩父	146	2%	8.6	43	121	2%	7.2	49	25	1%	1.5	36
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 11-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
					介護職員数 (介護施設等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,457,554		90	(12.5)	1,233,195		76	(11.5)	224,360		13.9	(5.6)
埼玉県	63,333	4.3%	83	44	55,697	4.5%	73	47	7,636	3.4%	10.0	43
南部	6,916	11%	94	53	5,897	11%	80	53	1,019	13%	13.8	50
南西部	5,228	8%	75	38	4,593	8%	66	41	635	8%	9.1	42
東部	8,463	13%	76	38	7,313	13%	65	40	1,150	15%	10.3	44
さいたま	11,478	18%	90	50	9,988	18%	79	52	1,489	20%	11.7	46
県央	4,428	7%	77	39	3,978	7%	69	44	450	6%	7.8	39
川越比企	6,229	10%	72	35	5,444	10%	63	38	785	10%	9.1	41
西部	6,666	11%	77	39	5,897	11%	68	42	769	10%	8.8	41
利根	6,434	10%	86	46	5,810	10%	78	51	624	8%	8.3	40
北部	5,844	9%	96	54	5,258	9%	86	58	586	8%	9.6	42
秩父	1,648	3%	97	56	1,520	3%	90	62	128	2%	7.6	39
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 11-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
埼玉県	38,453	3.6%	50	45	16,012	3.6%	21	44	53,139	3.6%	69	43
南部	4,143	11%	56	47	1,883	12%	26	48	6,905	13%	94	51
南西部	3,662	10%	53	46	1,425	9%	21	44	4,496	8%	65	42
東部	4,805	12%	43	43	2,628	16%	24	46	8,316	16%	74	45
さいたま	11,216	29%	88	57	3,311	21%	26	48	9,834	19%	77	46
県央	2,951	8%	51	45	741	5%	13	37	3,175	6%	55	39
川越比企	4,412	11%	51	45	1,820	11%	21	44	5,430	10%	63	41
西部	2,836	7%	33	39	1,925	12%	22	45	6,137	12%	71	43
利根	1,388	4%	19	35	1,248	8%	17	41	4,144	8%	55	39
北部	2,628	7%	43	43	784	5%	13	37	3,510	7%	57	39
秩父	412	1%	24	37	247	2%	15	39	1,192	2%	70	43
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 11-28 総人口の推移と医療需要⁸の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
埼玉県		7,054,243	7,266,534	3%	6,991,046	-1%	20%	8%	30%
南部	大都市型	725,140	786,522	8%	765,610	6%	22%	6%	30%
南西部	大都市型	665,592	709,451	7%	698,833	5%	25%	9%	36%
東部	大都市型	1,085,540	1,140,278	5%	1,088,980	0%	26%	8%	37%
さいたま	大都市型	1,176,314	1,263,979	7%	1,240,702	5%	22%	9%	34%
県央	大都市型	520,164	529,055	2%	510,256	-2%	22%	8%	32%
川越比企	地方都市型	794,810	800,002	1%	761,534	-4%	19%	8%	29%
西部	地方都市型	781,229	778,416	0%	753,821	-4%	18%	11%	31%
利根	地方都市型	662,824	647,166	-2%	604,461	-9%	16%	6%	24%
北部	地方都市型	528,034	510,017	-3%	477,922	-9%	11%	5%	16%
秩父	過疎地域型	114,596	101,648	-11%	88,927	-22%	0%	-5%	-5%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口・年齢(3区分)・割合・就業者数・昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

11.埼玉県(2017年版)

資_図表 11-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
埼玉県	363	5.1	45	341	4.7	45	-22	-6%	318
南部	31	4.3	43	28	3.6	42	-3	-10%	25
南西部	32	4.8	44	29	4.1	44	-3	-9%	26
東部	50	4.6	44	47	4.1	44	-3	-6%	44
さいたま	43	3.7	41	37	2.9	41	-6	-14%	30
県央	21	4.0	42	19	3.6	43	-2	-10%	17
川越比企	51	6.4	48	50	6.2	49	-1	-2%	49
西部	56	7.2	50	55	7.1	51	-1	-2%	54
利根	34	5.1	45	33	5.1	46	-1	-3%	32
北部	35	6.6	49	34	6.7	50	-1	-3%	33
秩父	10	8.7	54	9	8.9	55	-1	-10%	8
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 11-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
埼玉県	3,738	53	39	4,148	57	38	410	11%	4,599
南部	347	48	36	426	54	37	79	23%	513
南西部	310	47	35	347	49	34	37	12%	388
東部	479	44	34	560	49	34	81	17%	649
さいたま	753	64	44	879	70	45	126	17%	1,018
県央	259	50	37	284	54	36	25	10%	312
川越比企	439	55	40	442	55	37	3	1%	445
西部	401	51	38	423	54	37	22	5%	447
利根	318	48	36	332	51	35	14	4%	347
北部	345	65	45	369	72	46	24	7%	395
秩父	87	76	50	86	85	53	-1	-1%	85
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 11-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
埼玉県	9,454	134	41	11,503	158	41	2,049	22%	13,759
南部	903	125	40	1,107	141	39	204	23%	1,331
南西部	632	95	36	808	114	36	176	28%	1,002
東部	1,263	116	39	1,688	148	40	425	34%	2,156
さいたま	1,675	142	42	2,183	173	42	508	30%	2,742
県央	611	117	39	806	152	40	195	32%	1,021
川越比企	1,707	215	50	1,774	222	48	67	4%	1,848
西部	1,174	150	43	1,508	194	45	334	28%	1,875
利根	664	100	37	760	117	36	96	14%	866
北部	671	127	40	719	141	39	48	7%	772
秩父	154	134	41	150	148	40	-4	-3%	146
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 11-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
埼玉県	66,638	94	42	65,056	90	42	-1,582	-2%	63,315
南部	5,451	75	38	5,395	69	39	-56	-1%	5,333
南西部	5,485	82	39	5,055	71	39	-430	-8%	4,582
東部	10,023	92	41	9,630	84	42	-393	-4%	9,198
さいたま	8,585	73	38	8,286	66	38	-299	-3%	7,957
県央	4,455	86	40	4,277	81	41	-178	-4%	4,081
川越比企	10,667	134	49	9,883	124	48	-784	-7%	9,021
西部	9,188	118	46	9,972	128	49	784	9%	10,834
利根	5,870	89	40	5,989	93	43	119	2%	6,120
北部	5,833	110	44	5,595	110	46	-238	-4%	5,333
秩父	1,081	94	42	974	96	44	-107	-10%	856
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 11-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
埼玉県	38,328	54	40	38,499	53	41	171	0%	38,686	55
南部	3,482	48	37	3,446	44	37	-36	-1%	3,406	44
南西部	2,820	42	35	3,111	44	37	291	10%	3,431	49
東部	6,210	57	41	5,920	52	40	-290	-5%	5,601	51
さいたま	5,589	48	37	5,733	45	38	144	3%	5,891	47
県央	3,143	60	42	2,766	52	40	-377	-12%	2,351	46
川越比企	5,590	70	45	5,339	67	46	-251	-4%	5,063	66
西部	4,252	54	40	4,860	62	44	608	14%	5,529	73
利根	3,653	55	40	3,831	59	43	178	5%	4,027	67
北部	3,038	58	41	2,939	58	42	-99	-3%	2,830	59
秩父	551	48	37	554	55	41	3	1%	557	63
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 11-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
埼玉県	14,564	33	50	11,961	16	45	-2,603	-18%	9,099	8
南部	1,169	29	48	941	13	43	-228	-20%	690	7
南西部	1,522	45	57	838	12	42	-684	-45%	86	1
東部	2,015	38	53	1,606	14	44	-409	-20%	1,156	6
さいたま	1,701	23	45	1,332	10	41	-369	-22%	926	5
県央	633	21	44	769	13	43	136	21%	919	10
川越比企	2,069	39	54	1,919	22	51	-150	-7%	1,754	13
西部	3,107	60	66	2,595	30	57	-512	-16%	2,032	14
利根	742	15	40	689	9	40	-53	-7%	631	6
北部	1,256	28	48	975	16	46	-281	-22%	666	8
秩父	350	25	46	297	18	47	-53	-15%	239	13
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

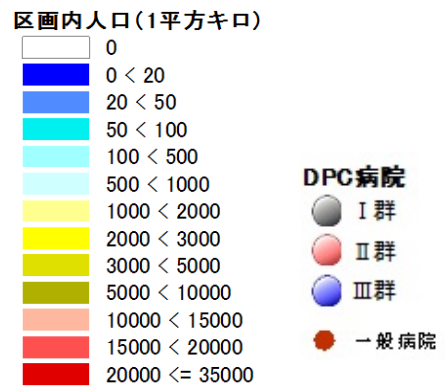
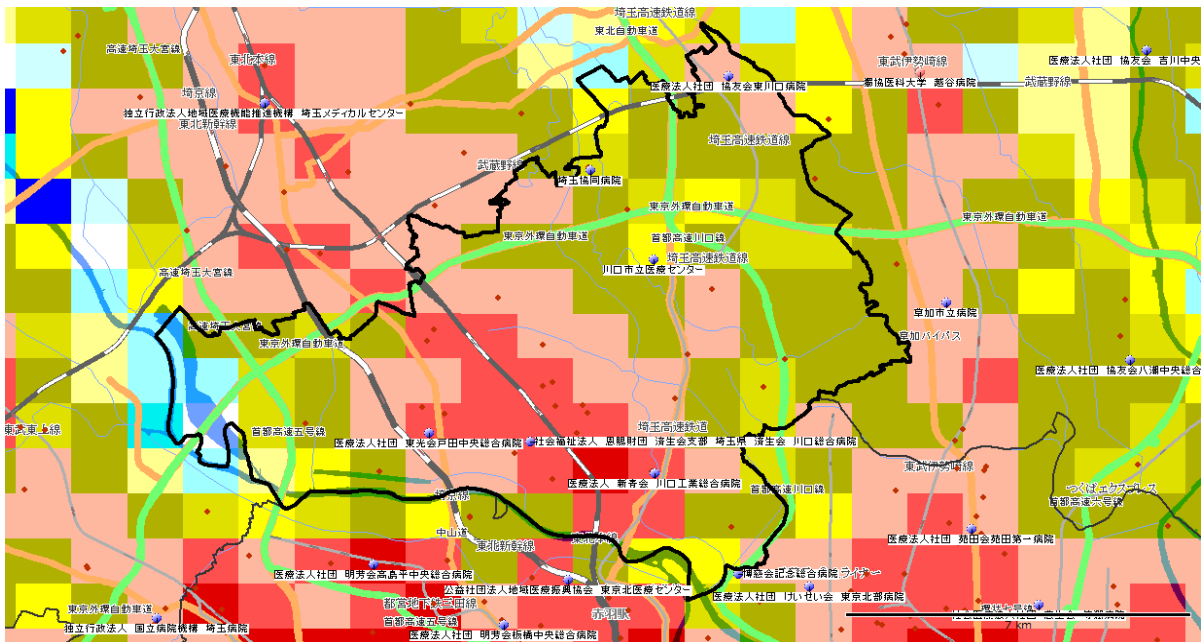
資_図表 11-35 後期高齢者の医療費・地域差指数⁷

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	934	(123)	1.000	460	(99)	1.000	441	(41)	1.000
埼玉県	845	43	0.933	392	43	0.899	420	45	0.961
南部	849	43	0.948	379	42	0.884	435	48	1.004
南西部	856	44	0.961	419	46	0.988	401	40	0.927
東部	846	43	0.937	384	42	0.898	427	46	0.966
さいたま	844	43	0.927	353	39	0.800	453	53	1.039
県央	826	41	0.909	363	40	0.834	428	47	0.972
川越比企	846	43	0.932	422	46	0.963	391	38	0.898
西部	869	45	0.962	441	48	1.010	394	39	0.909
利根	837	42	0.908	391	43	0.874	415	44	0.940
北部	847	43	0.909	394	43	0.862	426	46	0.964
秩父	763	36	0.821	347	39	0.752	392	38	0.900
出典	＜一人あたり医療費＞平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

11-1. なんぶ南部医療圏

構成市区町村⁹ [川口市](#) [蕨市](#) [戸田市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 南部(川口市)は、総人口約787千人(2015年)、面積85km²、人口密度は9226人/km²の大都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 南部の総人口は2025年に766千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に723千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の74千人が、2025年にかけて106千人へと増加し(2015年比+43%)、2040年には110千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 南部の一人当たり医療費(国保)は286千円(偏差値37)、介護給付費は215千円(偏差値39)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 南部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.72、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.46で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。
- *医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が39(病院医師数40、診療所医師数39)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は36と少ない。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は37で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の川口市立医療センター(Ⅲ群・救命)、1000例以上の戸田中央総合病院(Ⅲ群)、埼玉協同病院(Ⅲ群)、済生会川口総合病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は37で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10261人(75歳以上1000人当たりの偏差値71)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4436床(偏差値49)、高齢者住宅等が5825床(偏差値73)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5897人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設39、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム84、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム47、サ高住55である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、1019人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。
- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(南部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

南部医療圏の総人口は、2005年725140人が、2015年に786522人と8%増加し、2025年の人口が765610人と予測され、2005年→2025年の間に6%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に22%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

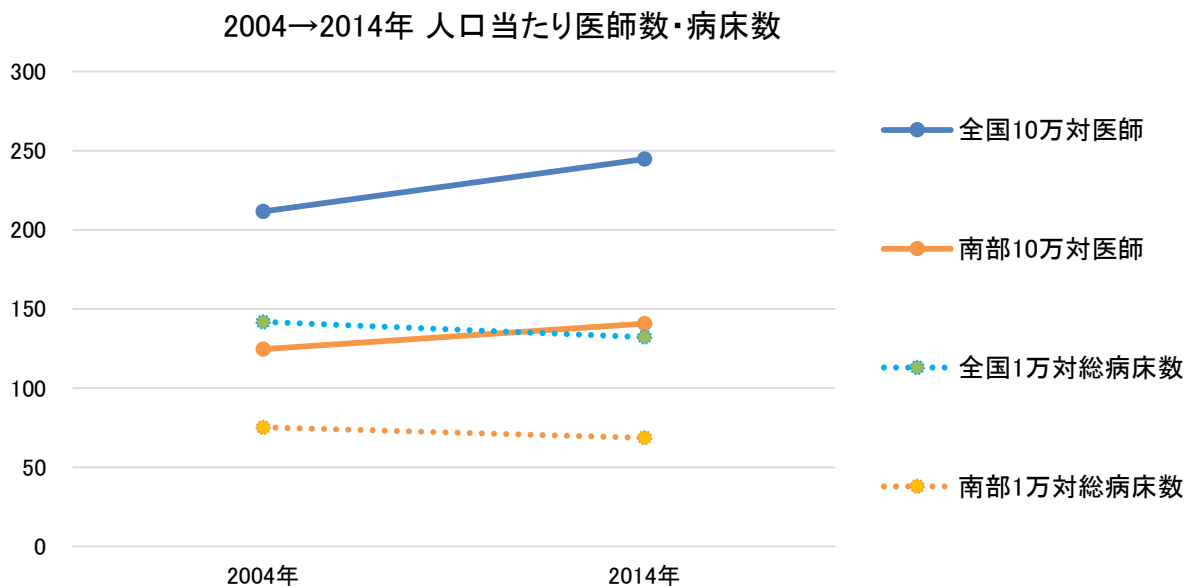
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が31(人口10万人当たり4.3病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2014年に28(人口10万人当たり3.6病院(全国平均6.7)偏差値42)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が347(人口10万人当たり48診療所(全国平均76)偏差値36)であったが、2014年に426(人口10万人当たり54診療所(全国平均79)偏差値37)と、79診療所が増加した。

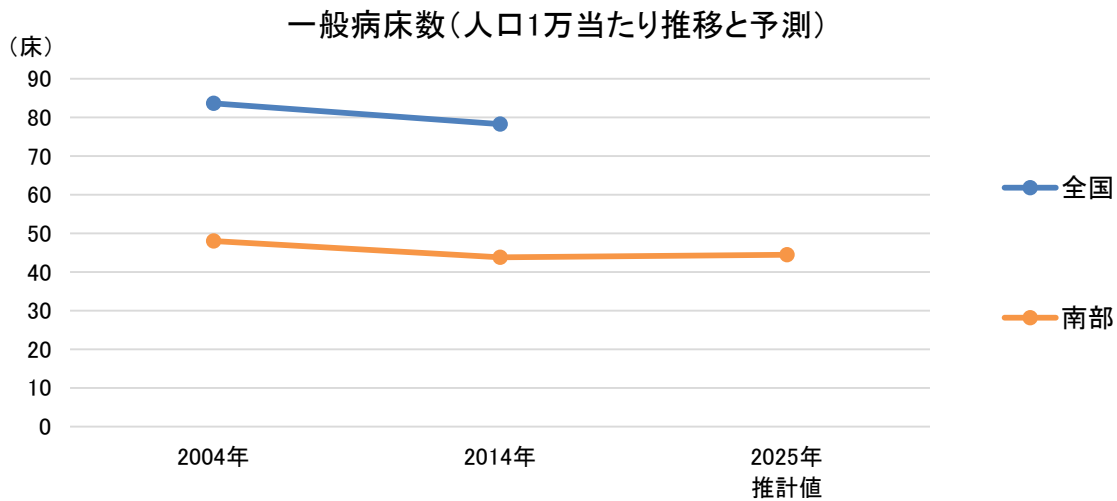
2004年の総病床数が5451床(人口1万人当たり75(全国平均142)偏差値38)であったが、2014年に5395床(人口1万人当たり69(全国平均132)偏差値39)と、56床の減少、率にして1%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が903人(人口10万人当たり125人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に1107人(人口10万人当たり141人(全国平均245人)偏差値39)と、204人の増加、率にして23%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



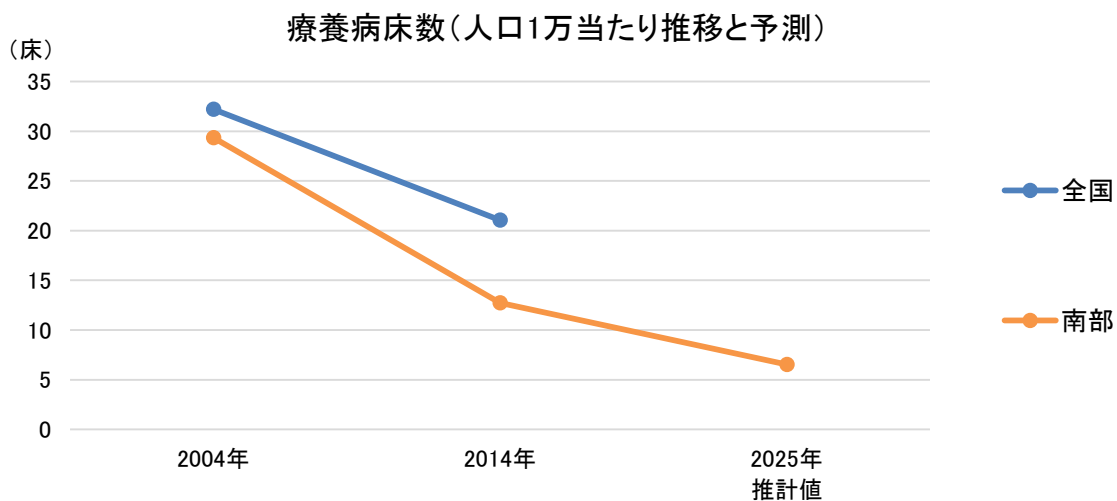
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3482床(人口1万人当たり48(全国平均84)偏差値37)であったが、2014年に3446床(人口1万人当たり44(全国平均78)偏差値37)と、36床の減少、率にして1%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3406床(2025年の推計人口1万人当たり44)になることが予想される。



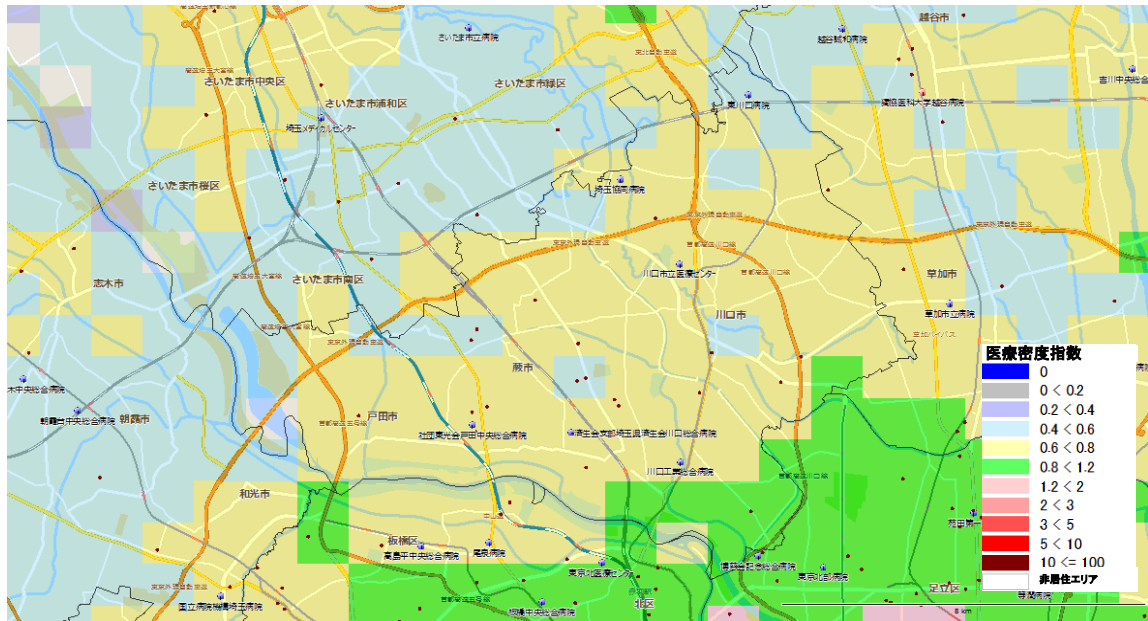
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1169床(75歳以上1000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に941床(75歳以上1000人当たり13(全国平均21)偏差値43)と、228床の減少、率にして20%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には690床(2025年の推計75歳以上1000人当たり7)になることが予想される。



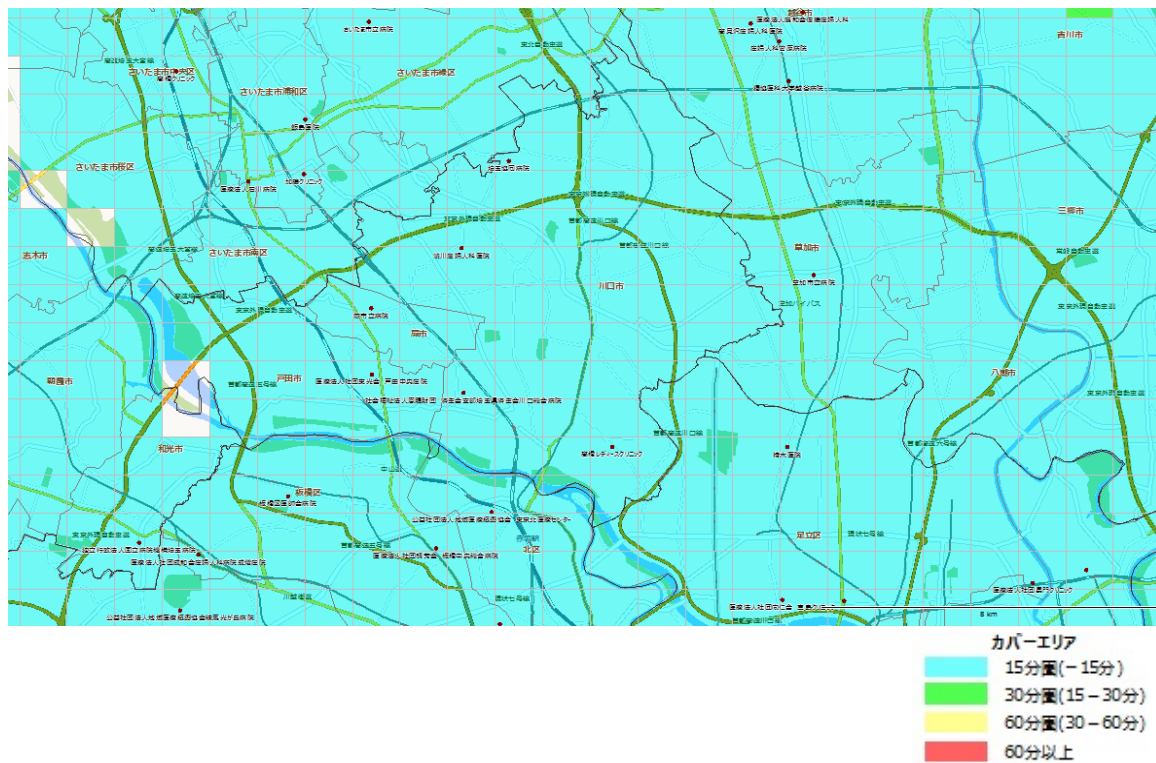
(南部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表11-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表11-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

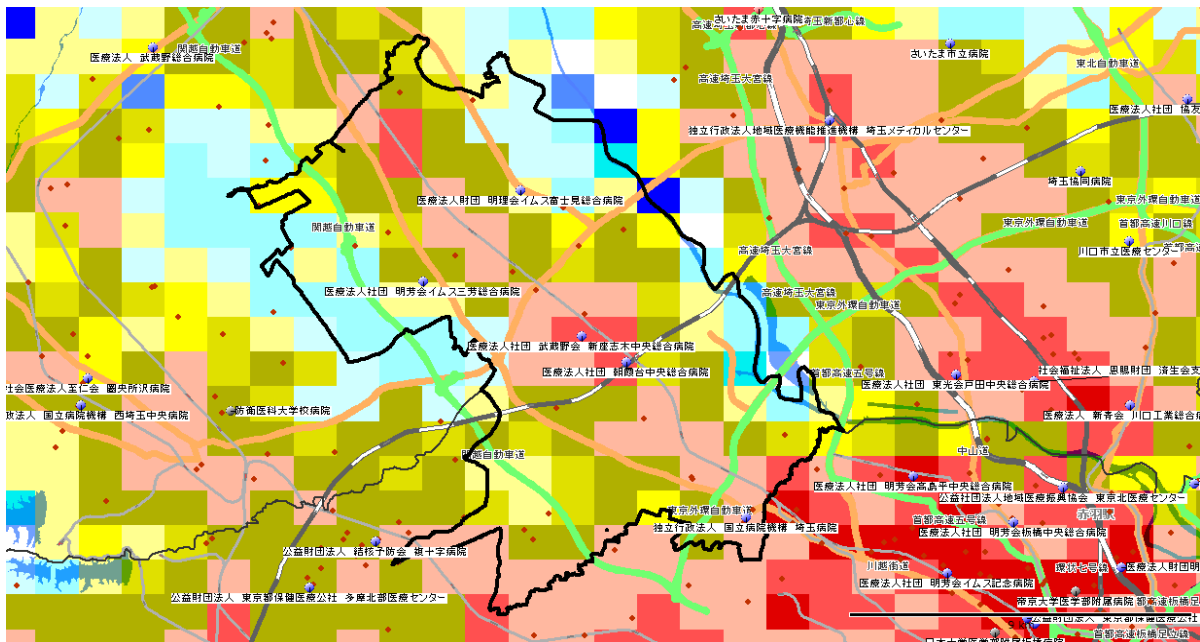
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



11-2. なんせいぶ 南西部医療圏

構成市区町村⁹ [朝霞市](#) [志木市](#) [和光市](#) [新座市](#)
[富士見市](#) [ふじみ野市](#) [三芳町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(南西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 南西部(朝霞市)は、総人口約709千人(2015年)、面積111km²、人口密度は6394人/km²の大都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 南西部の総人口は2025年に699千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に658千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の69千人が、2025年にかけて108千人へと増加し(2015年比+57%)、2040年には112千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 南西部の一人当たり医療費(国保)は301千円(偏差値40)、介護給付費は184千円(偏差値31)であり、医療費は低く、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 南西部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.64、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.65で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。
- *医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が36(病院医師数37、診療所医師数37)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は35と少ない。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は37で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。南西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立病院機構埼玉病院(Ⅲ群)、1000例以上の朝霞中央総合病院(Ⅲ群)、500例以上の新座志木中央総合病院(Ⅲ群)、イムス富士見総合病院(Ⅲ群)、イムス三芳総合病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は34で診療所数は非常に少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 南西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8296人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4372床(偏差値51)、高齢者住宅等が3924床(偏差値59)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4593人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム60、軽費ホーム47、グループホーム43、サ高住62である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、635人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-27%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(南西部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

南西部医療圏の総人口は、2005年665592人が、2015年に709451人と7%増加し、2025年の人口が698833人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に25%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

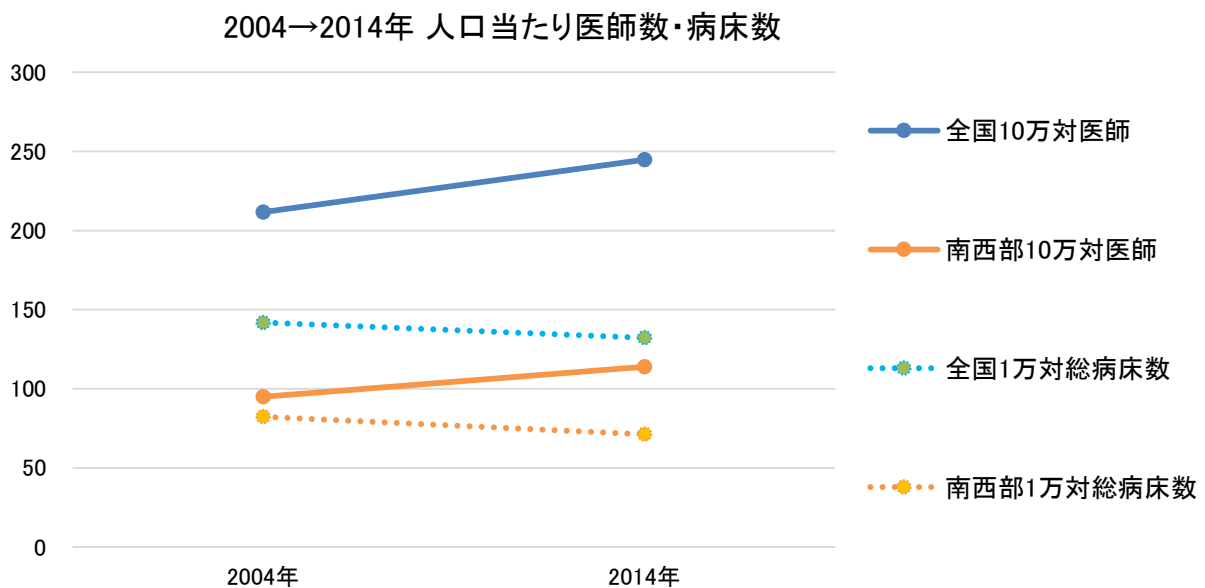
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が32(人口10万人当たり4.8病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2014年に29(人口10万人当たり4.1病院(全国平均6.7)偏差値44)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が310(人口10万人当たり47診療所(全国平均76)偏差値35)であったが、2014年に347(人口10万人当たり49診療所(全国平均79)偏差値34)と、37診療所が増加した。

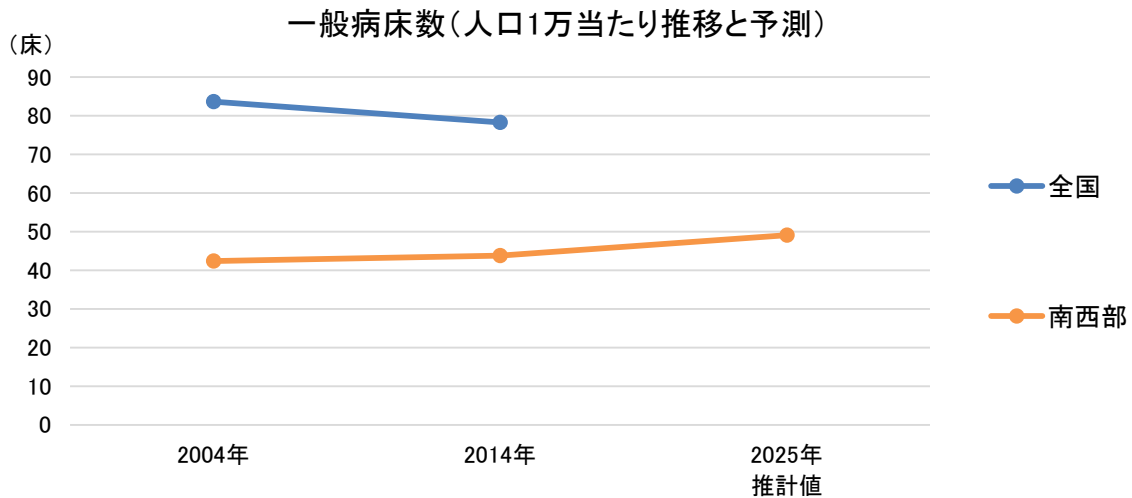
2004年の総病床数が5485床(人口1万人当たり82(全国平均142)偏差値39)であったが、2014年に5055床(人口1万人当たり71(全国平均132)偏差値39)と、430床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が632人(人口10万人当たり95人(全国平均212人)偏差値36)であったが、2014年に808人(人口10万人当たり114人(全国平均245人)偏差値36)と、176人の増加、率にして28%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



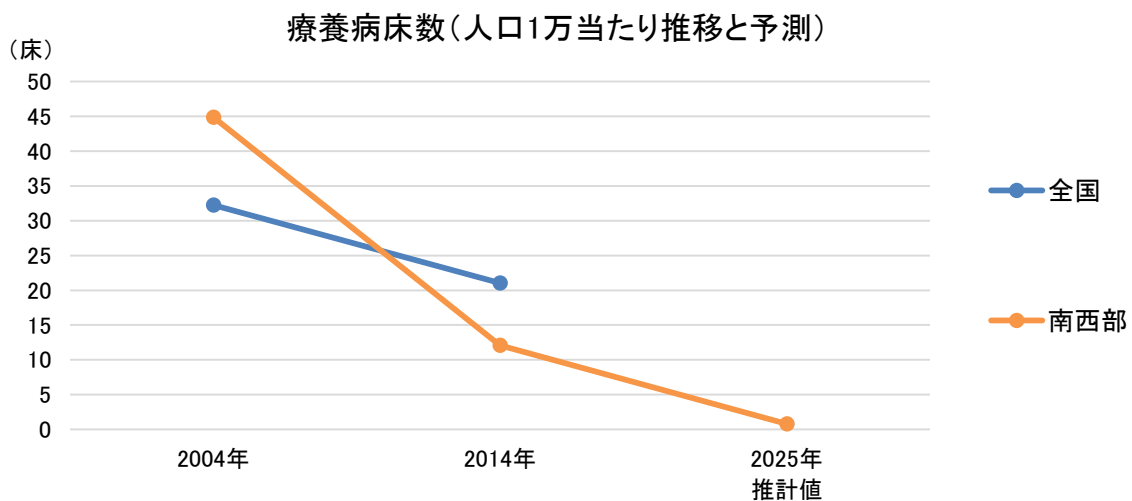
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2820床(人口1万人当たり42(全国平均84)偏差値35)であったが、2014年に3111床(人口1万人当たり44(全国平均78)偏差値37)と、291床の増加、率にして10%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には3431床(2025年の推計人口1万人当たり49)になることが予想される。



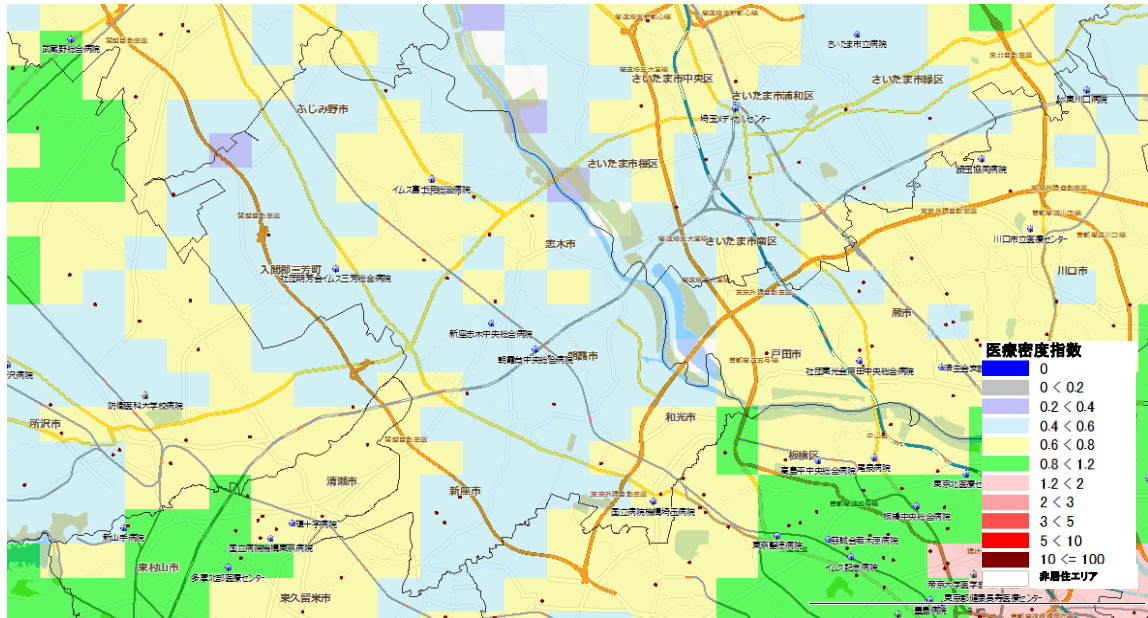
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1522床(75歳以上1000人当たり45(全国平均32)偏差値57)であったが、2014年に838床(75歳以上1000人当たり12(全国平均21)偏差値42)と、684床の減少、率にして45%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には86床(2025年の推計75歳以上1000人当たり1)になることが予想される。



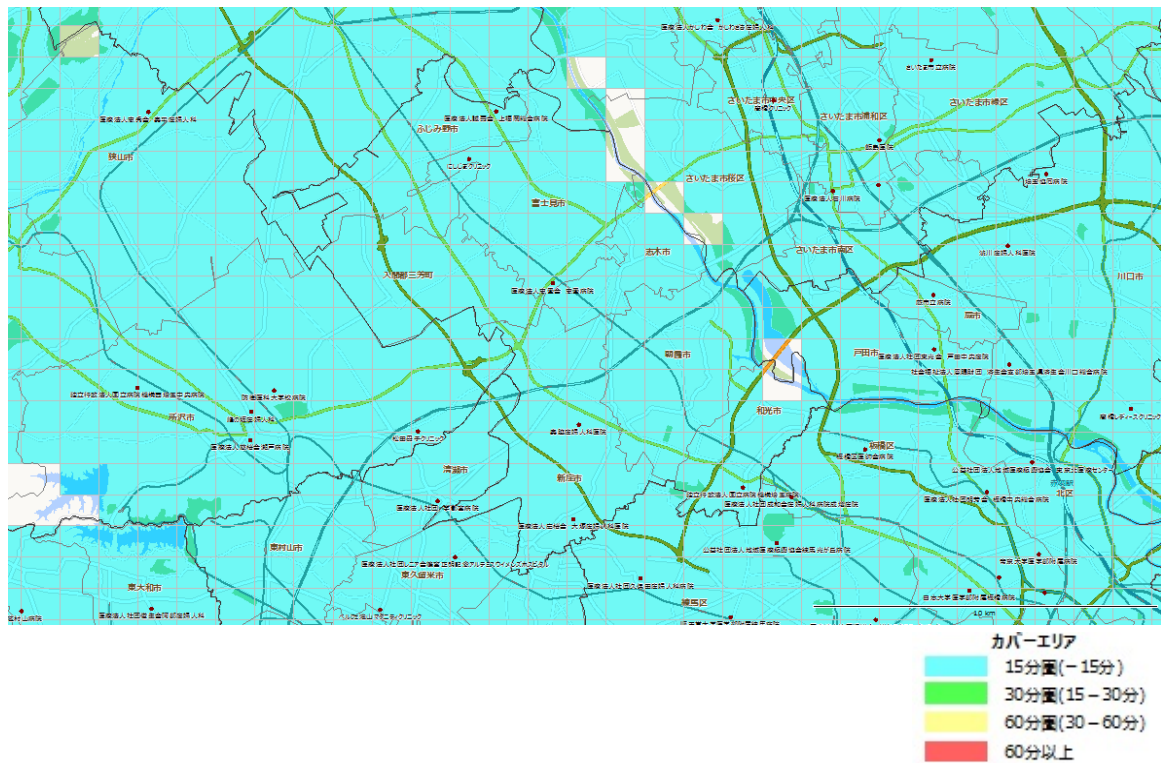
(南西部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表11-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表11-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

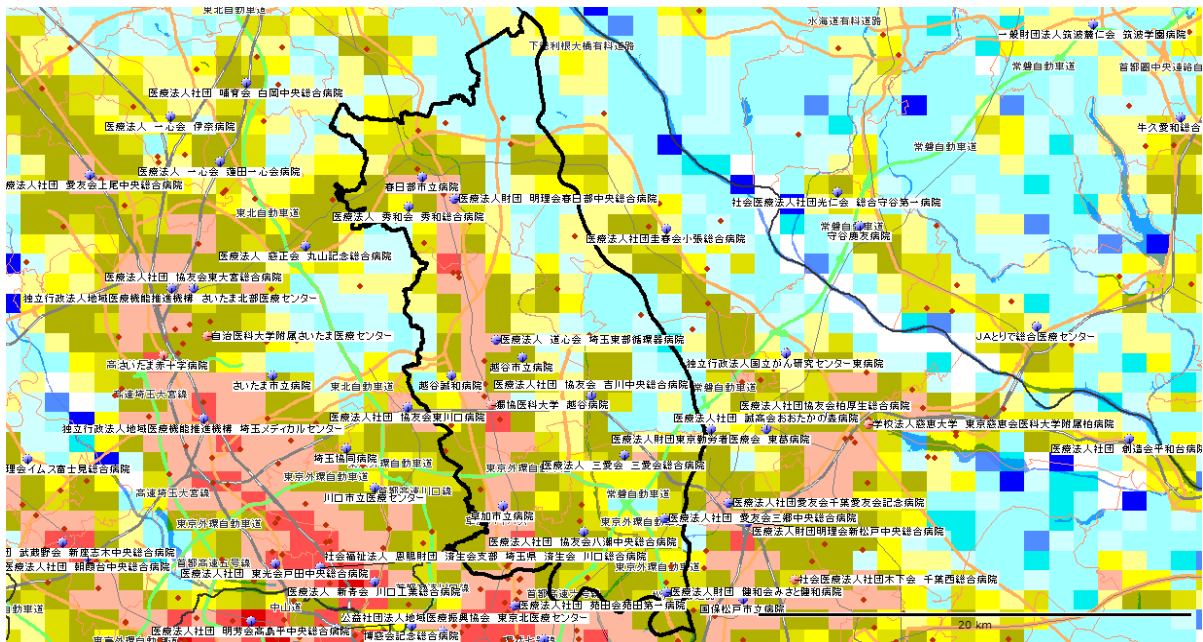
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



11-3. とうぶ 東部医療圏

構成市区町村⁹ [春日部市](#) [草加市](#) [越谷市](#) [八潮市](#)
[三郷市](#) [吉川市](#) [松伏町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 東部(春日部市)は、総人口約1140千人(2015年)、面積250km²、人口密度は4566人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 東部の総人口は2025年に1089千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に975千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の112千人が、2025年にかけて187千人へと増加し(2015年比+67%)、2040年には179千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 東部の一人当たり医療費(国保)は308千円(偏差値42)、介護給付費は177千円(偏差値29)であり、医療費は低く、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 東部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.66、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.45で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が40(病院医師数42、診療所医師数38)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は38と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。東部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の越谷市立病院(Ⅲ群)、獨協医科大学越谷病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の草加市立病院(Ⅲ群)、秀和総合病院(Ⅲ群)、春日部中央総合病院(Ⅲ群)、500例以上の三郷中央総合病院(Ⅲ群)、みさと健和病院(Ⅲ群)、越谷誠和病院(Ⅲ群)、春日部市立病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は35で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、12950人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が5984床(偏差値44)、高齢者住宅等が6966床(偏差値63)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7313人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム67、軽費ホーム45、グループホーム44、サ高住59である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、1150人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-38%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(東部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

東部医療圏の総人口は、2005年1085540人が、2015年に1140278人と5%増加し、2025年の人口が1088980人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に26%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

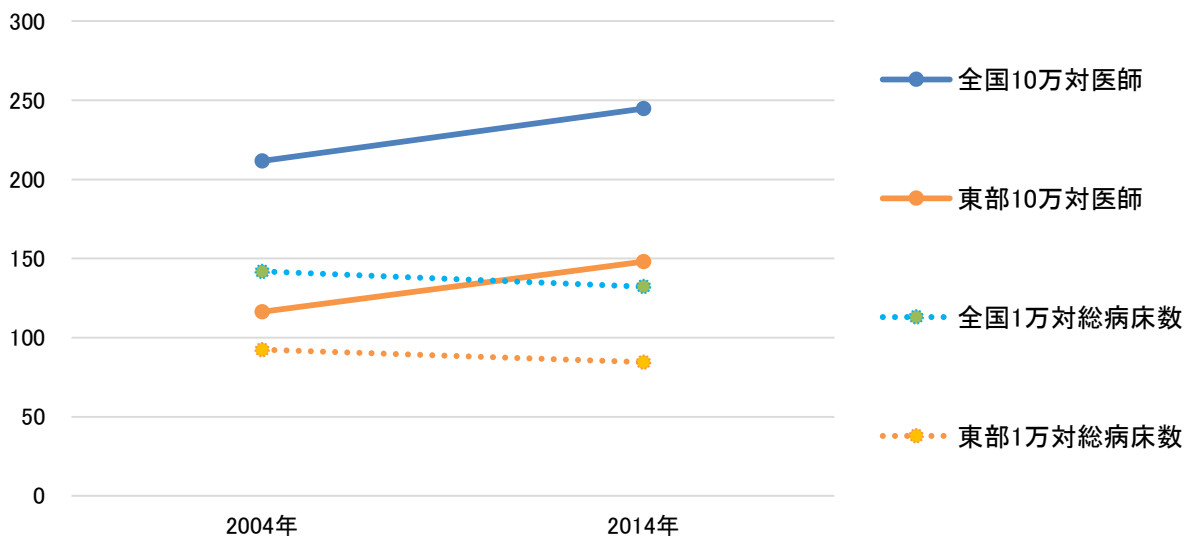
2004年の病院数が50(人口10万人当たり4.6病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2014年に47(人口10万人当たり4.1病院(全国平均6.7)偏差値44)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が479(人口10万人当たり44診療所(全国平均76)偏差値34)であったが、2014年に560(人口10万人当たり49診療所(全国平均79)偏差値34)と、81診療所が増加した。

2004年の総病床数が10023床(人口1万人当たり92(全国平均142)偏差値41)であったが、2014年に9630床(人口1万人当たり84(全国平均132)偏差値42)と、393床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

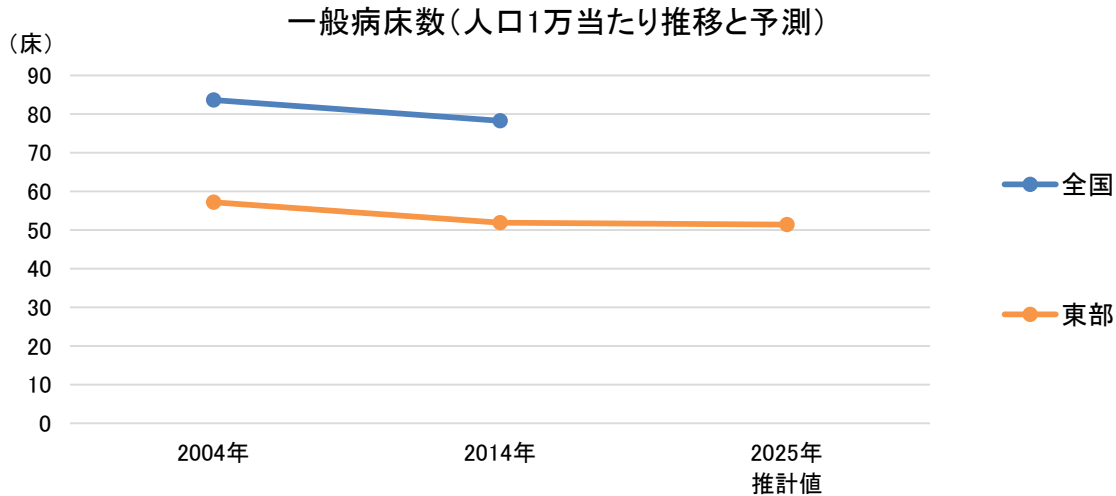
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1263人(人口10万人当たり116人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に1688人(人口10万人当たり148人(全国平均245人)偏差値40)と、425人の増加、率にして34%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



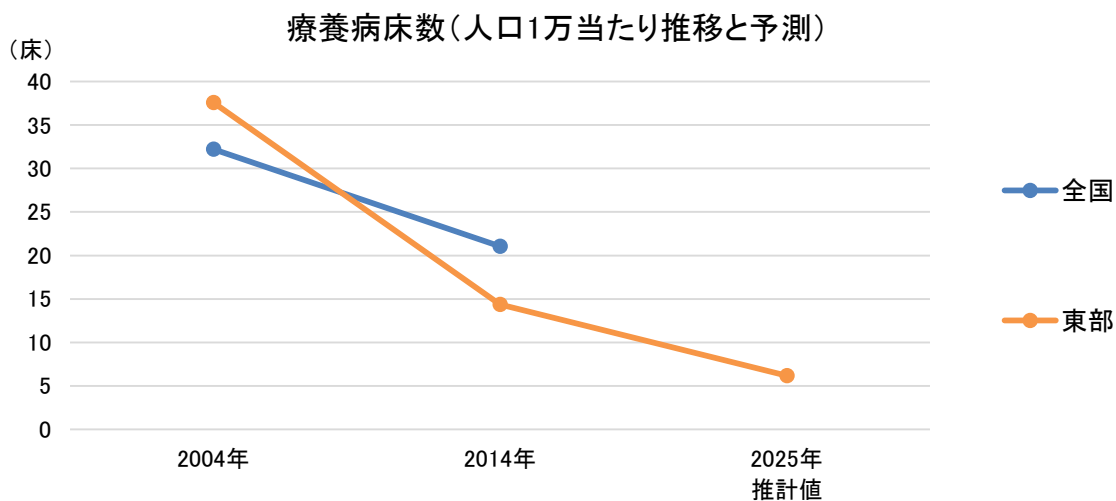
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6210床(人口1万人当たり57(全国平均84)偏差値41)であったが、2014年に5920床(人口1万人当たり52(全国平均78)偏差値40)と、290床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には5601床(2025年の推計人口1万人当たり51)になることが予想される。



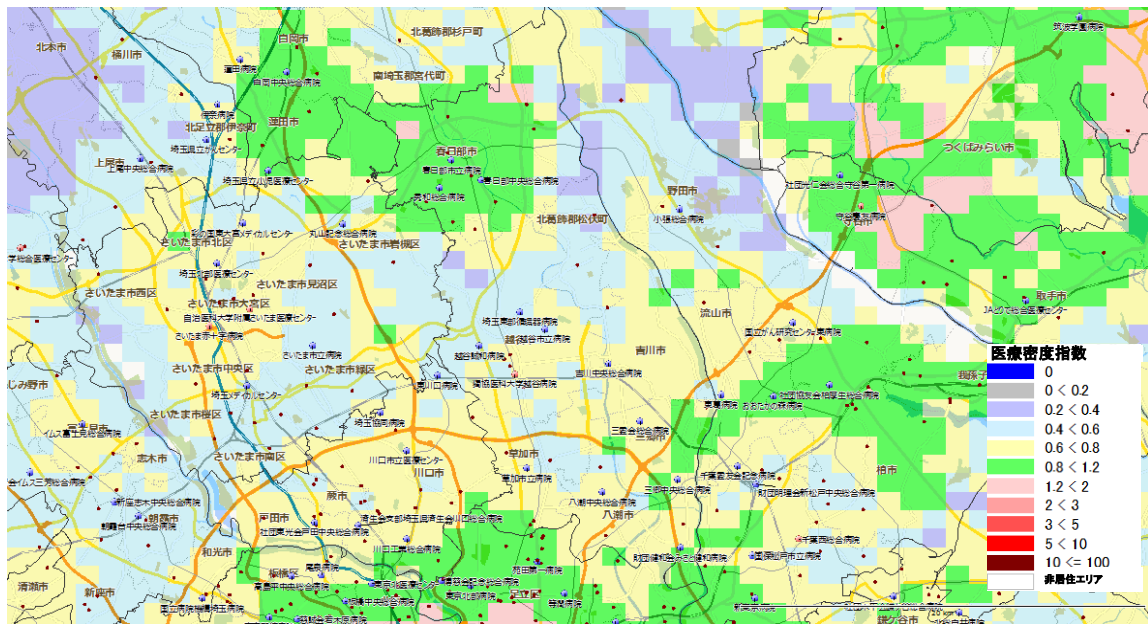
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2015床(75歳以上1000人当たり38(全国平均32)偏差値53)であったが、2014年に1606床(75歳以上1000人当たり14(全国平均21)偏差値44)と、409床の減少、率にして20%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1156床(2025年の推計75歳以上1000人当たり6)になることが予想される。



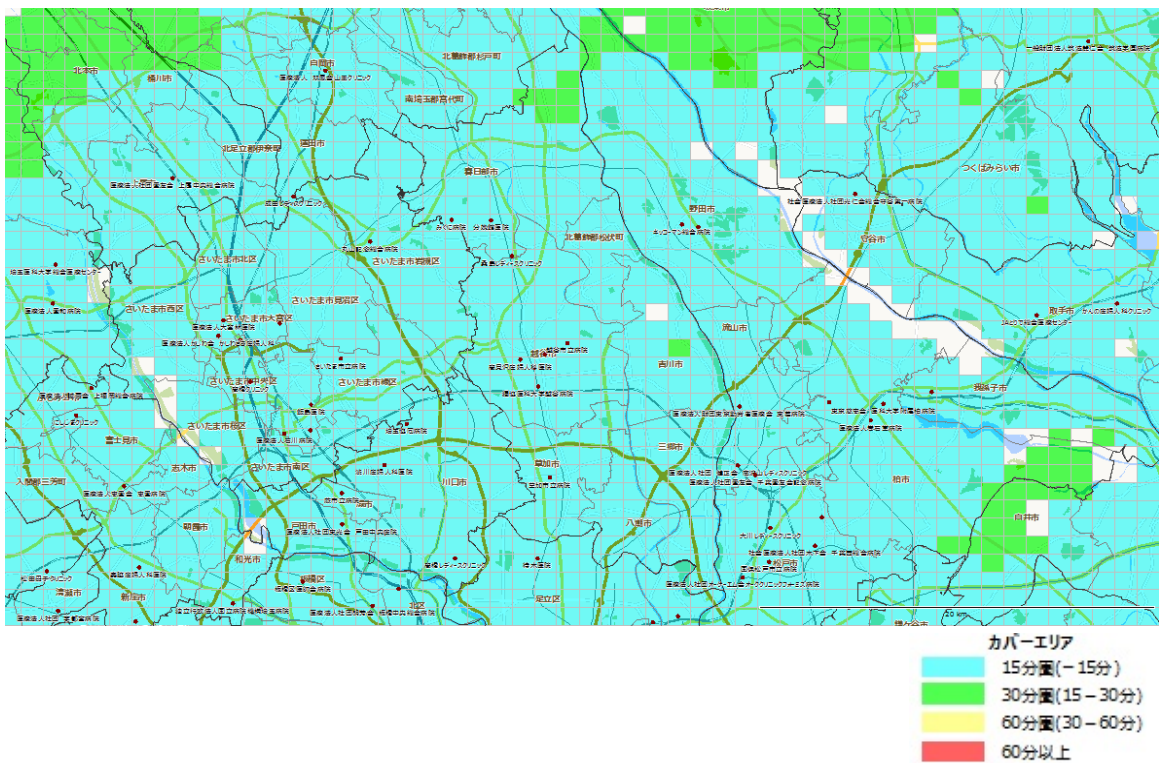
(東部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表11-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表11-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



11-4. さいたま医療圏

構成市区町村⁹

[西区](#)

[中央区](#)

[緑区](#)

[北区](#)

[桜区](#)

[岩槻区](#)

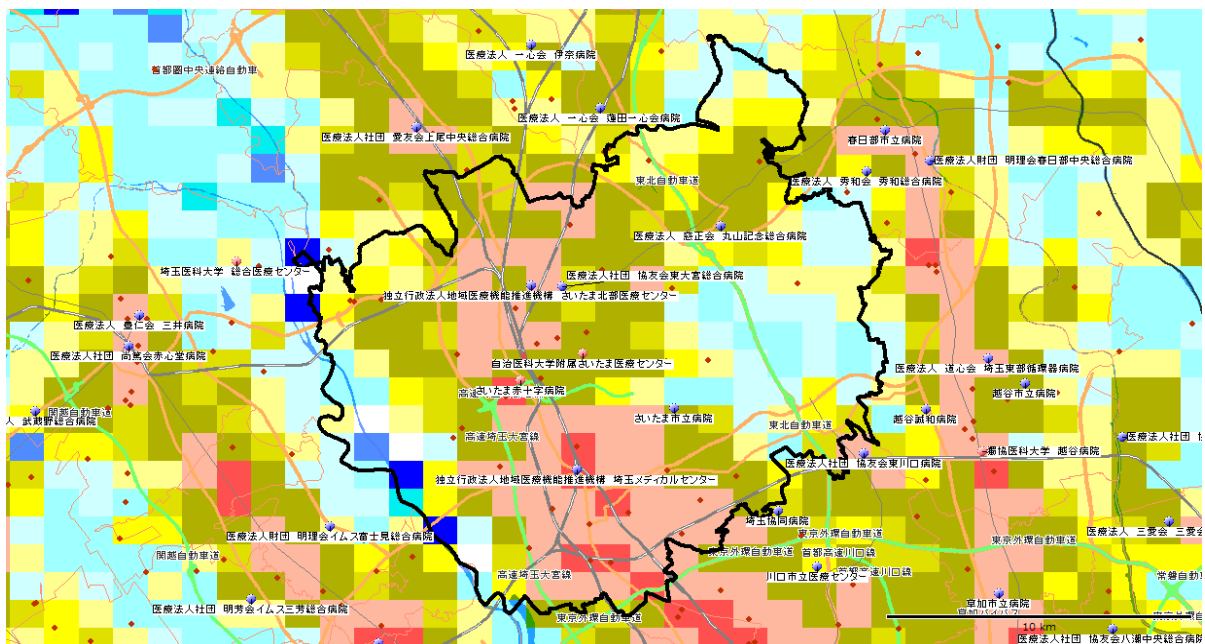
[大宮区](#)

[浦和区](#)

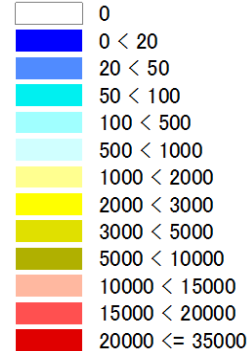
[見沼区](#)

[南区](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

(さいたま医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など：さいたま(さいたま市西区)は、総人口約1264千人(2015年)、面積217km²、人口密度は5813人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測：さいたまの総人口は2025年に1241千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に1168千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の127千人が、2025年にかけて191千人へと増加し(2015年比+50%)、2040年には211千人へと増加する(2025年比+10%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費：さいたまの一人当たり医療費(国保)は315千円(偏差値44)、介護給付費は226千円(偏差値43)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度：さいたまの一人当たり急性期医療密度指数²は0.65、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.48で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状：総医師数³の偏差値が42(病院医師数41、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は38と少ない。

*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は38で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。さいたまには、年間全身麻酔件数が2000例以上のさいたま市立病院(Ⅲ群)、さいたま赤十字病院(Ⅱ群・救命)、自治医科大学附属さいたま医療センター(Ⅱ群・救命)、1000例以上の埼玉県立小児医療センター(Ⅲ群)、JCHO埼玉メディカルセンター(Ⅲ群)、500例以上の丸山記念総合病院(Ⅲ群)、東大宮総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状：総療法士数は偏差値39と少なく、回復期病床数は偏差値41と少ない。

*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は42で精神病床数は少ない。

*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状：さいたまの総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、18710人(75歳以上1000人当たりの偏差値76)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が8217床(偏差値53)、高齢者住宅等が10493床(偏差値75)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、9988人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム85、軽費ホーム48、グループホーム42、サ高住60である。

*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値55とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、1489人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測：2025年の介護充足度指数⁴は+6%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(さいたま医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

さいたま医療圏の総人口は、2005年1176314人が、2015年に1263979人と7%増加し、2025年の人口が1240702人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に22%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

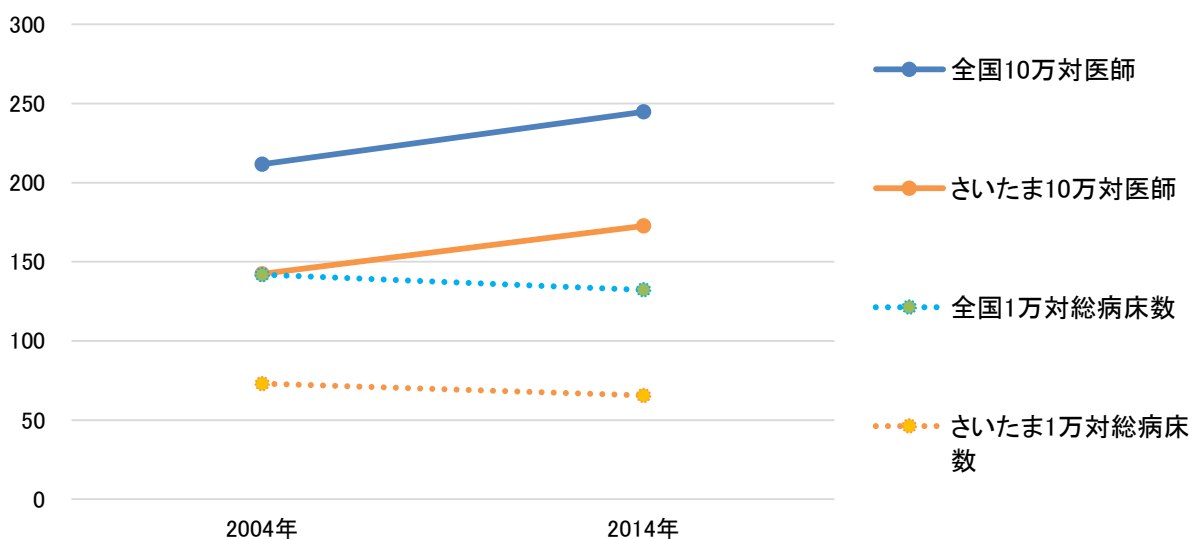
2004年の病院数が43(人口10万人当たり3.7病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2014年に37(人口10万人当たり2.9病院(全国平均6.7)偏差値41)となり、10年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が753(人口10万人当たり64診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2014年に879(人口10万人当たり70診療所(全国平均79)偏差値45)と、126診療所が増加した。

2004年の総病床数が8585床(人口1万人当たり73(全国平均142)偏差値38)であったが、2014年に8286床(人口1万人当たり66(全国平均132)偏差値38)と、299床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

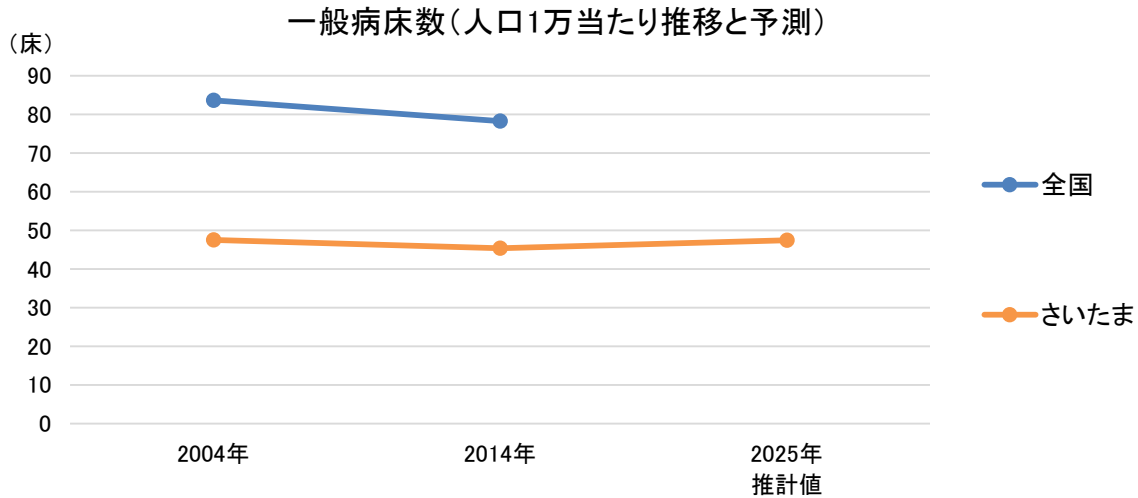
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1675人(人口10万人当たり142人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に2183人(人口10万人当たり173人(全国平均245人)偏差値42)と、508人の増加、率にして30%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



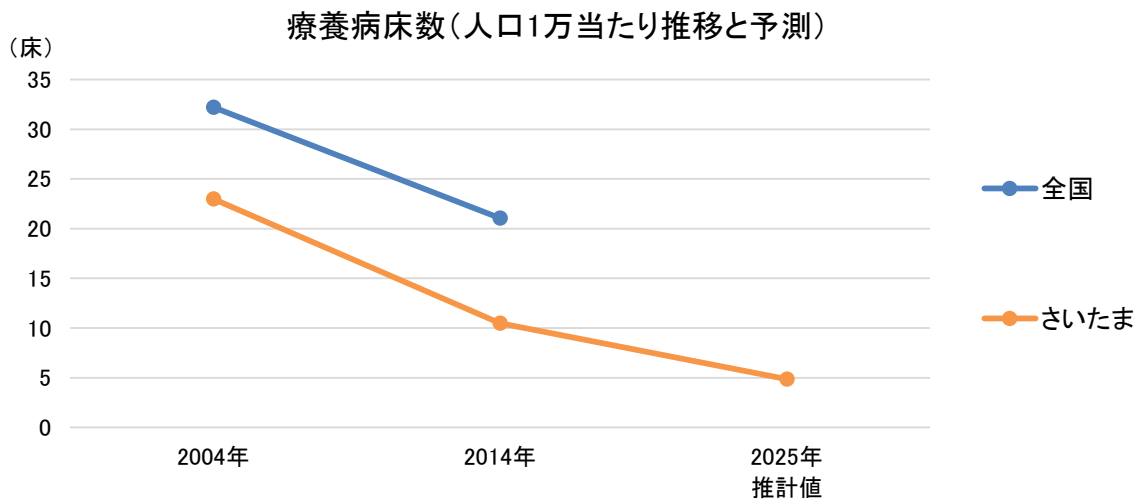
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5589床(人口1万人当たり48(全国平均84)偏差値37)であったが、2014年に5733床(人口1万人当たり45(全国平均78)偏差値38)と、144床の増加、率にして3%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には5891床(2025年の推計人口1万人当たり47)になることが予想される。



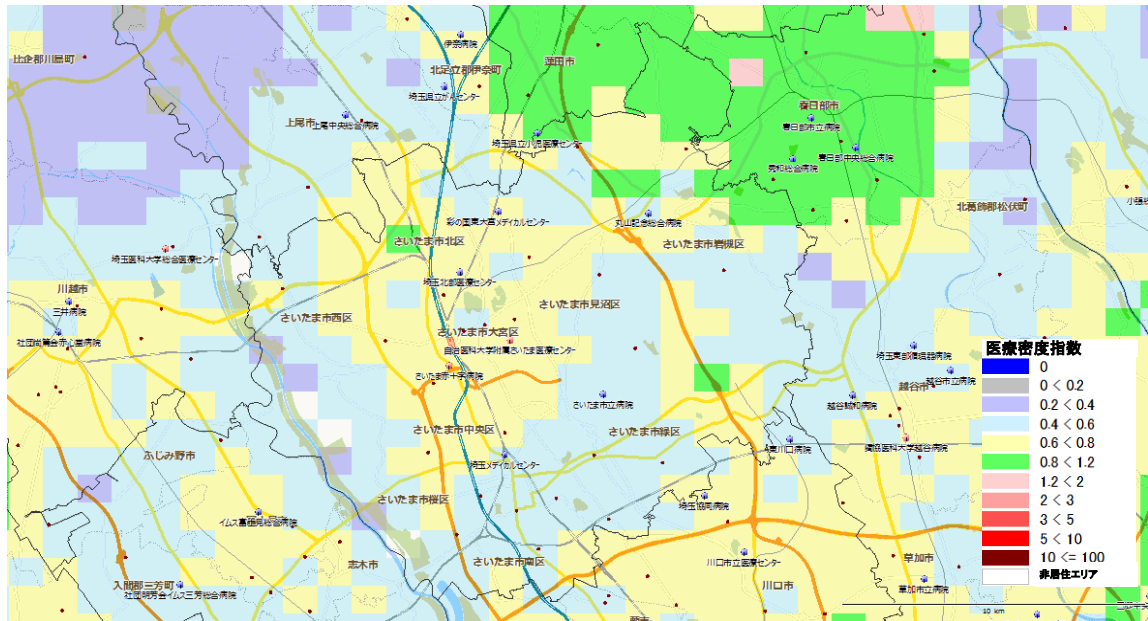
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1701床(75歳以上1000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2014年に1332床(75歳以上1000人当たり10(全国平均21)偏差値41)と、369床の減少、率にして22%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には926床(2025年の推計75歳以上1000人当たり5)になることが予想される。



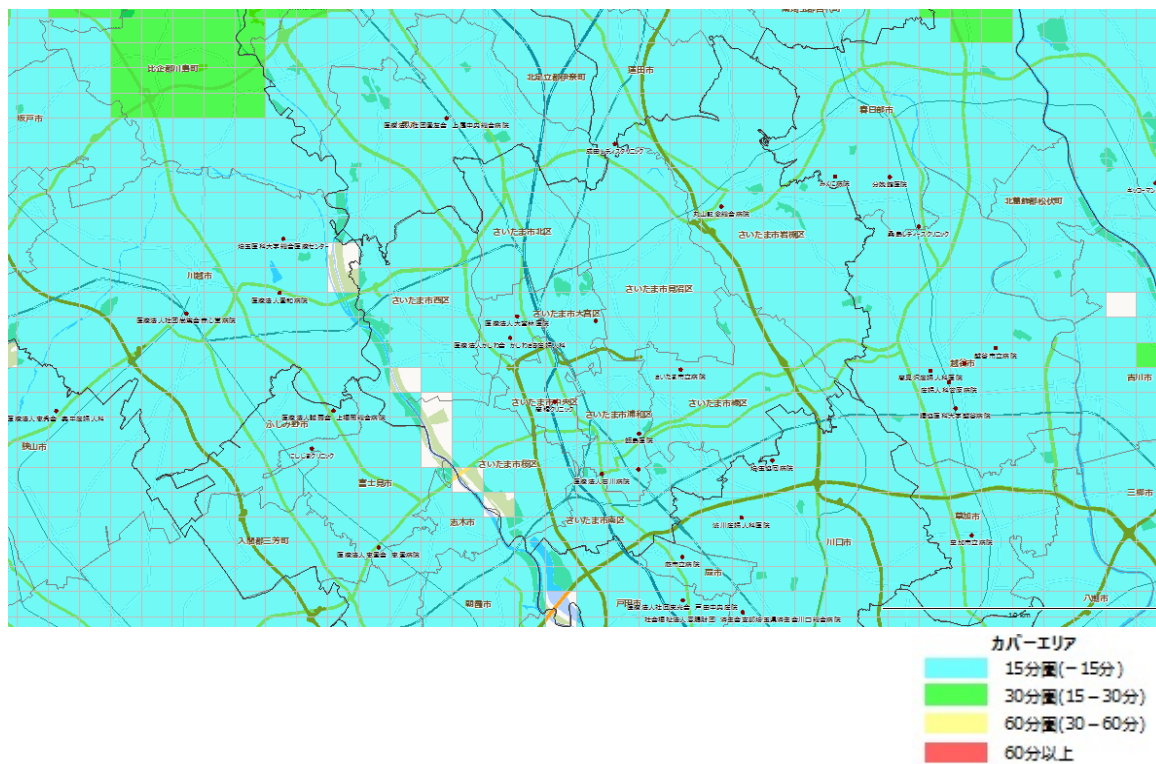
(さいたま医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表11-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表11-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

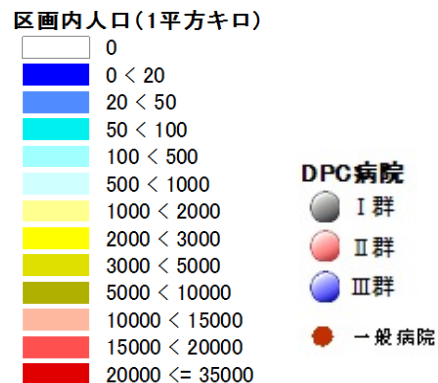
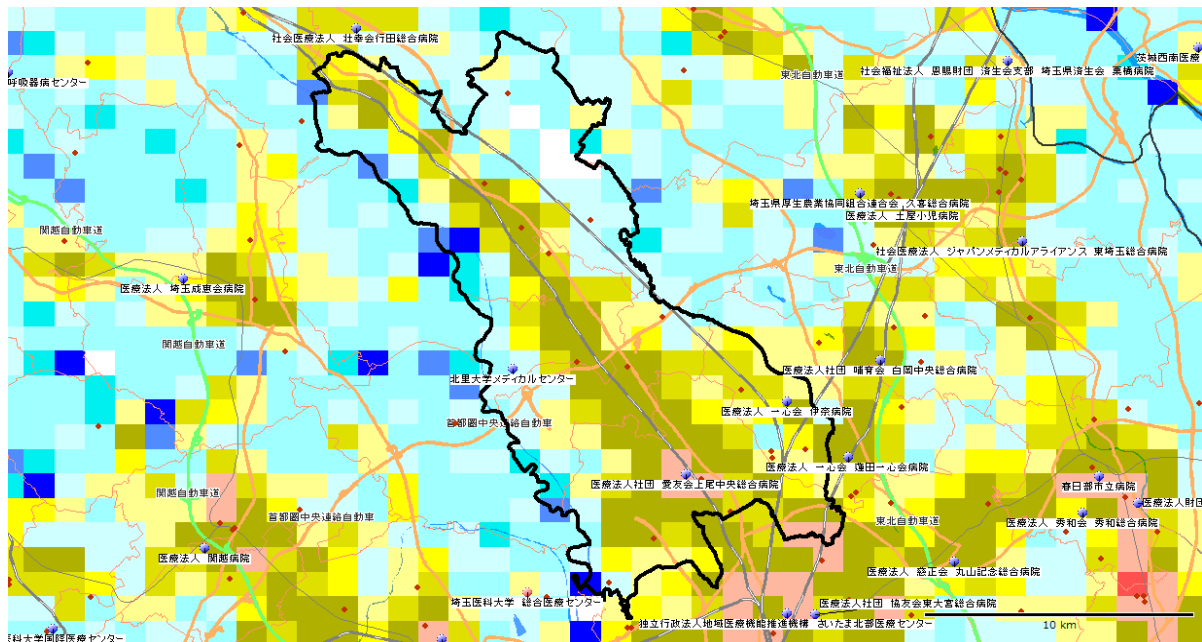
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



11-5. けんおう 県央医療圏

構成市区町村⁹ [鴻巣市](#) [上尾市](#) [桶川市](#) [北本市](#)
[伊奈町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(県央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県央(鴻巣市)は、総人口約529千人(2015年)、面積173km²、人口密度は3060人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県央の総人口は2025年に510千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に453千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の57千人が、2025年にかけて90千人へと増加し(2015年比+58%)、2040年には89千人へと減少する(2025年比-1%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県央の一人当たり医療費(国保)は329千円(偏差値47)、介護給付費は185千円(偏差値31)であり、医療費はやや低く、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 県央の一人当たり急性期医療密度指数²は0.59、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.51で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が41(病院医師数42、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は41と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。県央には、年間全身麻酔件数が2000例以上の上尾中央総合病院(Ⅲ群)、埼玉県立がんセンター(Ⅲ群)、1000例以上の北里大学メディカルセンター(Ⅲ群)、500例以上の伊奈病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は36で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6084人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が4218床(偏差値60)、高齢者住宅等が1866床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3978人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設60、特別養護老人ホーム60、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム49、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム44、サ高住46である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値41と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員(在宅)の合計は、450人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-35%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(県央医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

県央医療圏の総人口は、2005年520164人が、2015年に529055人と2%増加し、2025年の人口が510256人と予測され、2005年→2025年の間に2%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に22%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

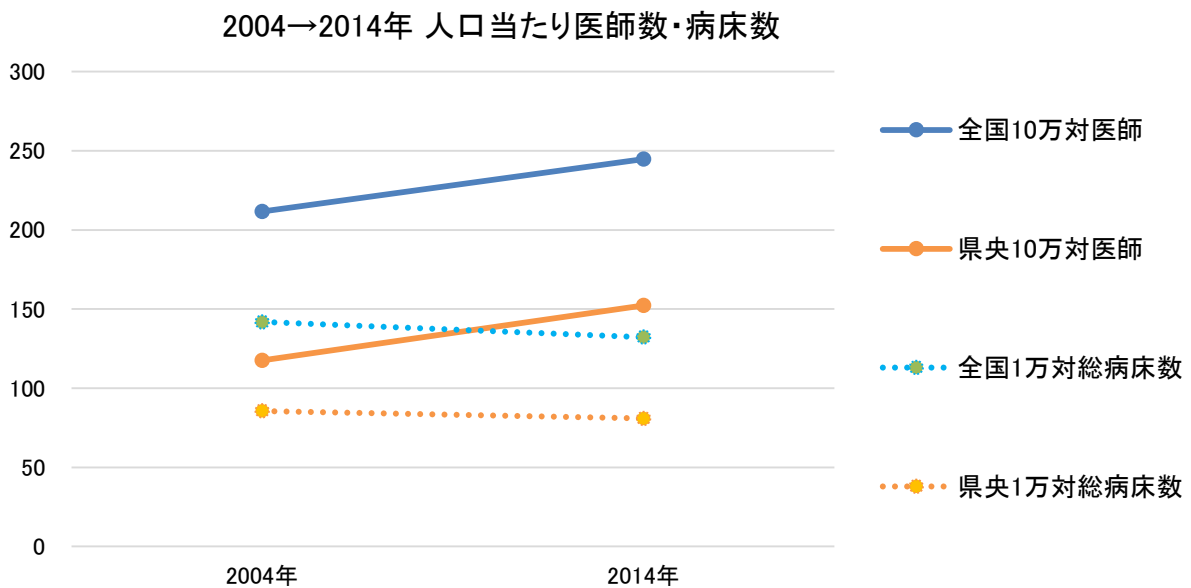
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が21(人口10万人当たり4病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2014年に19(人口10万人当たり3.6病院(全国平均6.7)偏差値43)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が259(人口10万人当たり50診療所(全国平均76)偏差値37)であったが、2014年に284(人口10万人当たり54診療所(全国平均79)偏差値36)と、25診療所が増加した。

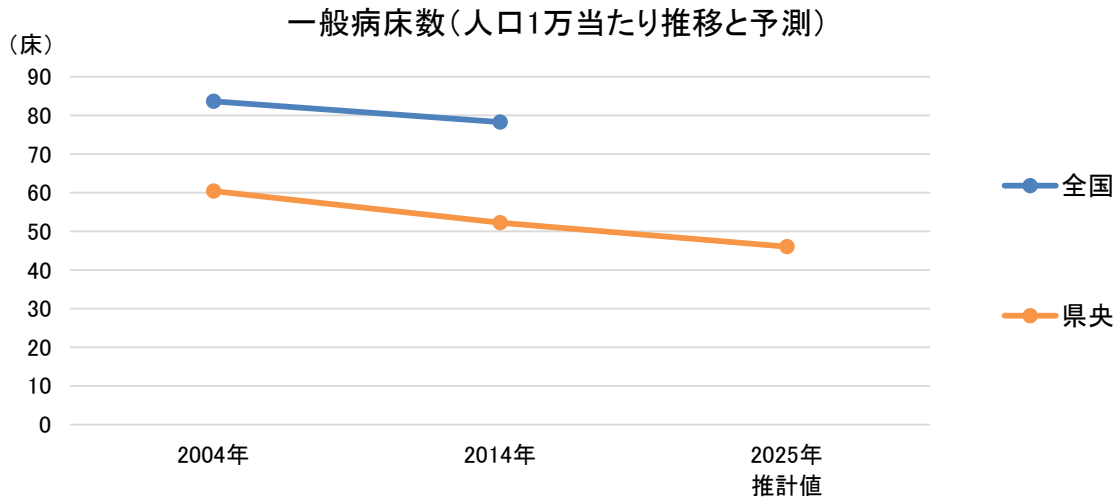
2004年の総病床数が4455床(人口1万人当たり86(全国平均142)偏差値40)であったが、2014年に4277床(人口1万人当たり81(全国平均132)偏差値41)と、178床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が611人(人口10万人当たり117人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に806人(人口10万人当たり152人(全国平均245人)偏差値40)と、195人の増加、率にして32%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



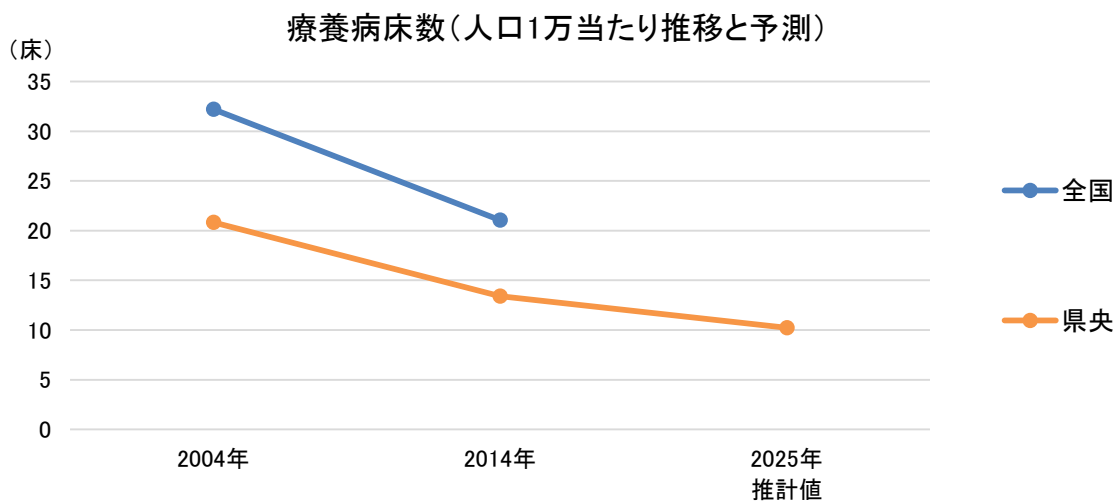
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3143床(人口1万人当たり60(全国平均84)偏差値42)であったが、2014年に2766床(人口1万人当たり52(全国平均78)偏差値40)と、377床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2351床(2025年の推計人口1万人当たり46)になることが予想される。



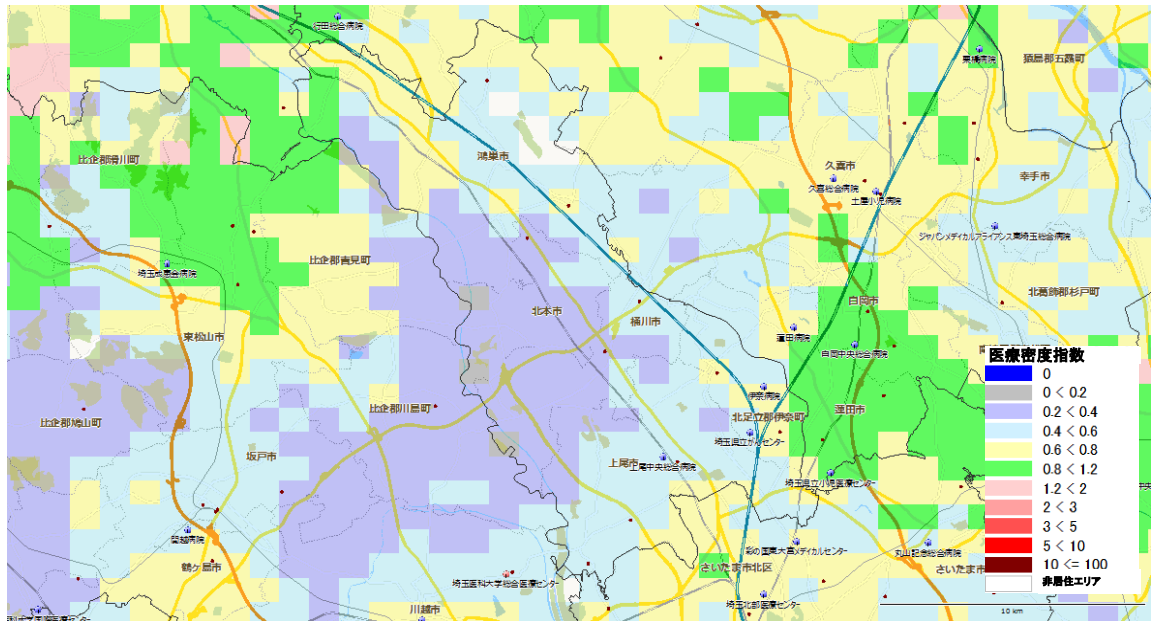
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が633床(75歳以上1000人当たり21(全国平均32)偏差値44)であったが、2014年に769床(75歳以上1000人当たり13(全国平均21)偏差値43)と、136床の増加、率にして21%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には919床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。



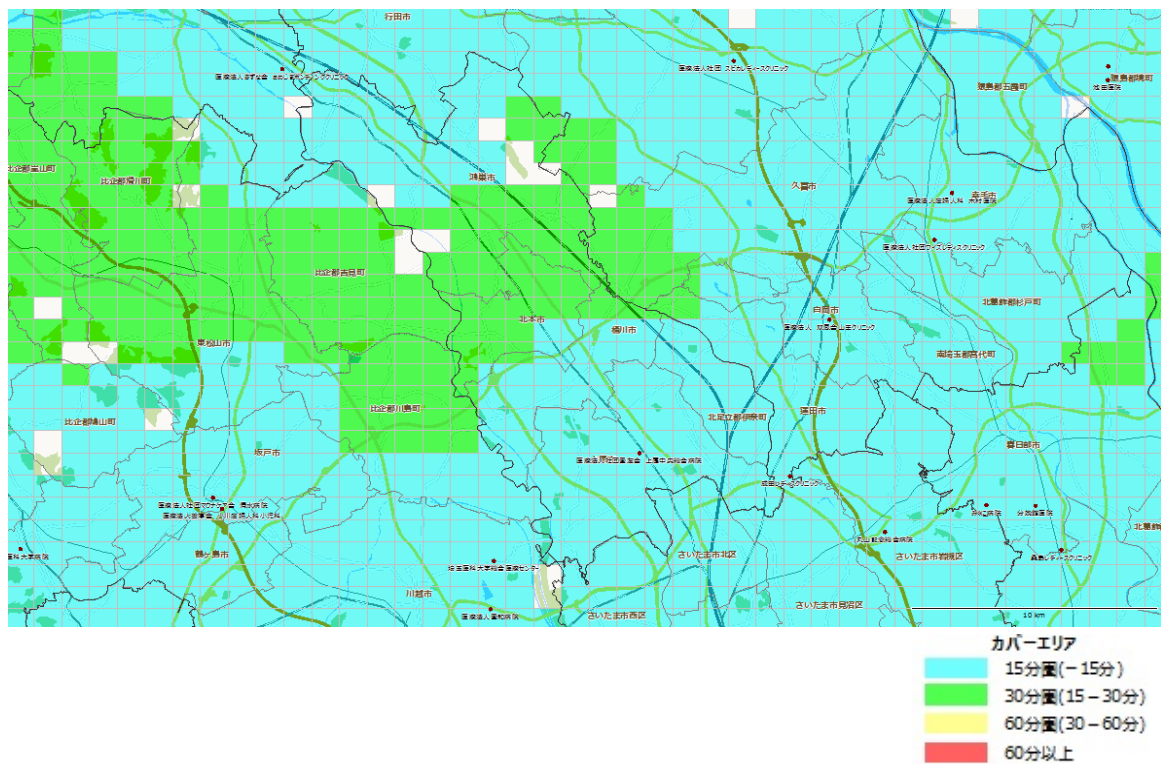
(県央医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表11-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表11-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)

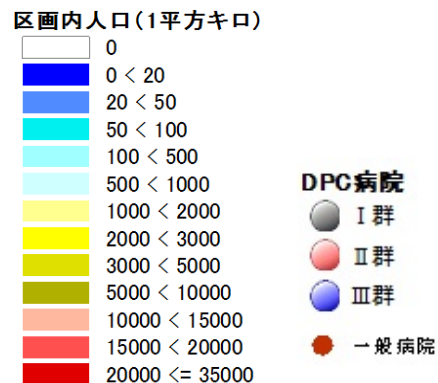
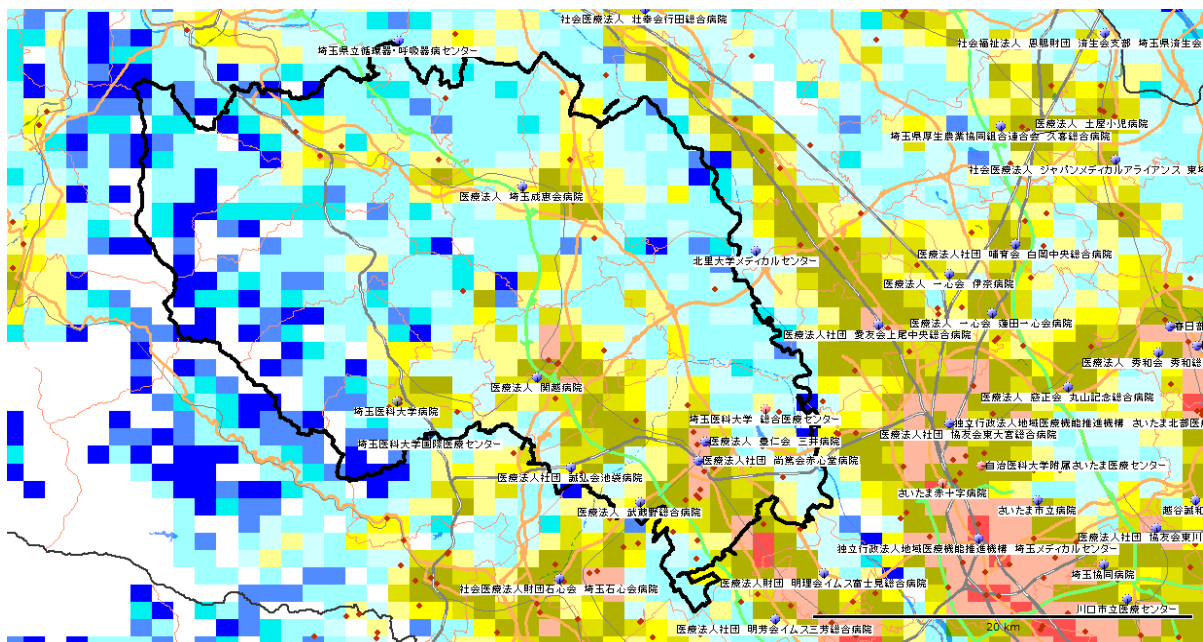


11-6. かわごえひき 川越比企医療圏

構成市区町村⁹

川越市	東松山市	坂戸市	鶴ヶ島市
毛呂山町	越生町	滑川町	嵐山町
小川町	川島町	吉見町	鳩山町
ときがわ町	東秩父村		

人口分布¹ (1km²区画単位)



(川越比企医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 川越比企(川越市)は、総人口約800千人(2015年)、面積627km²、人口密度は1277人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 川越比企の総人口は2025年に762千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に671千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の87千人が、2025年にかけて138千人へと増加し(2015年比+59%)、2040年には135千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 川越比企の一人当たり医療費(国保)は326千円(偏差値46)、介護給付費は185千円(偏差値31)であり、医療費はやや低く、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 川越比企の一人当たり急性期医療密度指数²は0.64、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.9で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が49(病院医師数53、診療所医師数41)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。川越比企には、年間全身麻酔件数が2000例以上の埼玉医科大学総合医療センター(Ⅱ群・救命)、埼玉医科大学病院(Ⅰ群)、1000例以上の赤心堂病院(Ⅲ群)、500例以上の小川赤十字病院(Ⅲ群)、埼玉成恵会病院(Ⅲ群)、三井病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は37で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 川越比企の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8839人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が4762床(偏差値45)、高齢者住宅等が4077床(偏差値53)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5444人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム52、軽費ホーム46、グループホーム46、サ高住58である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、785人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-49%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(川越比企医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

川越比企医療圏の総人口は、2005年794810人が、2015年に800002人と1%増加し、2025年の人口が761534人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に19%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

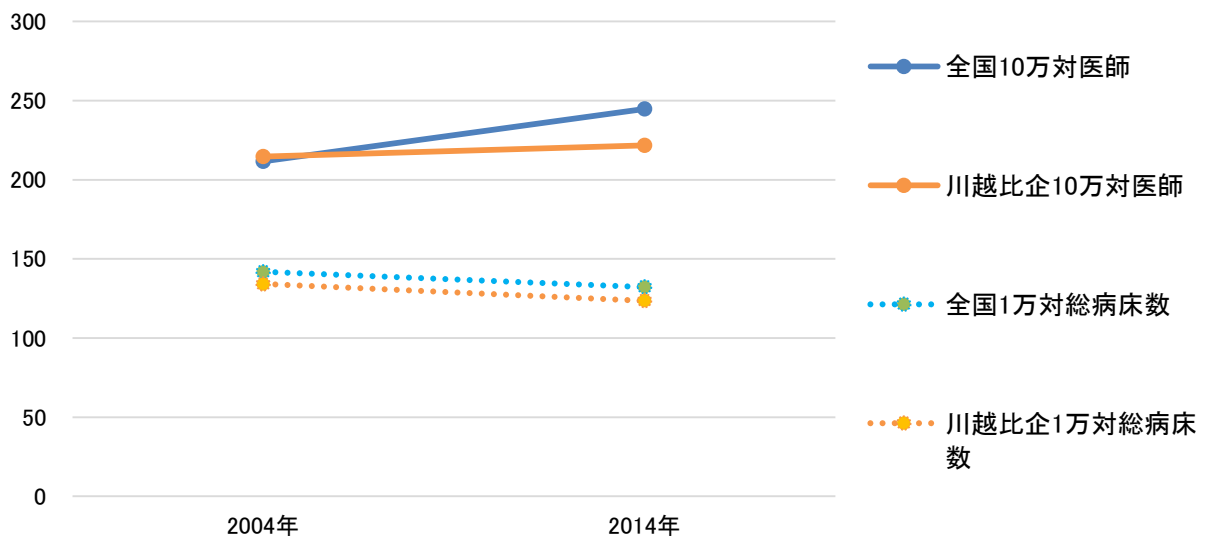
2004年の病院数が51(人口10万人当たり6.4病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に50(人口10万人当たり6.2病院(全国平均6.7)偏差値49)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が439(人口10万人当たり55診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に442(人口10万人当たり55診療所(全国平均79)偏差値37)と、3診療所が増加した。

2004年の総病床数が10667床(人口1万人当たり134(全国平均142)偏差値49)であったが、2014年に9883床(人口1万人当たり124(全国平均132)偏差値48)と、784床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

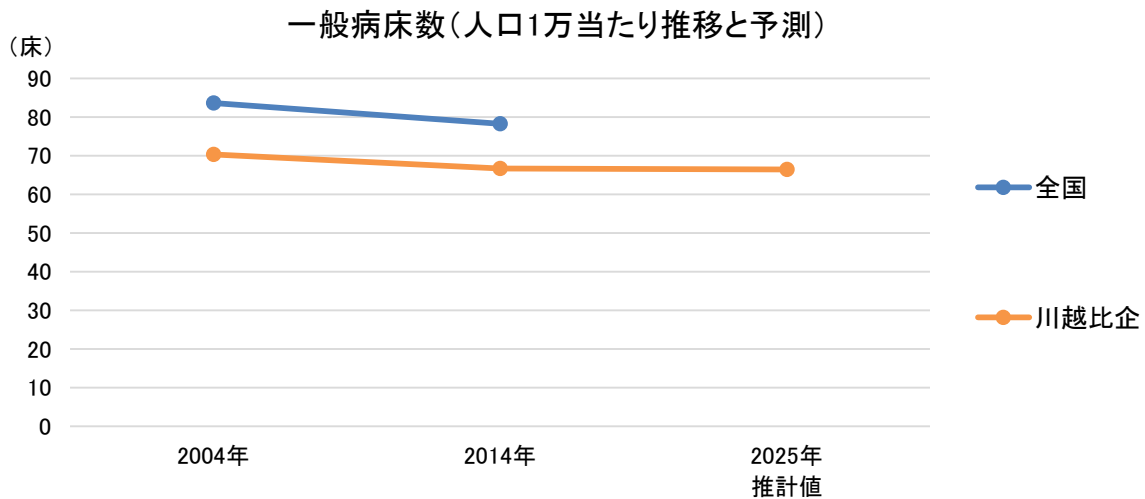
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1707人(人口10万人当たり215人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2014年に1774人(人口10万人当たり222人(全国平均245人)偏差値48)と、67人の増加、率にして4%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



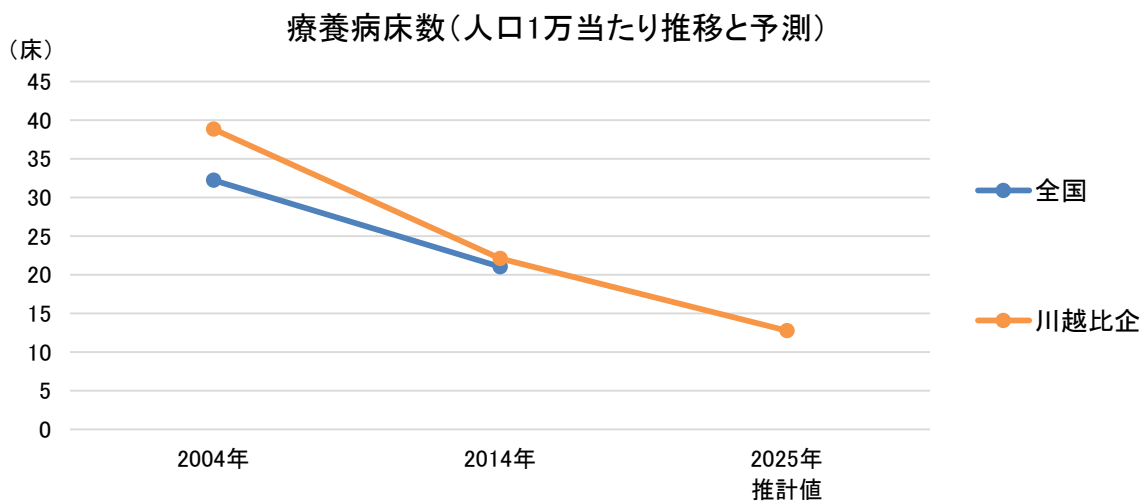
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5590床(人口1万人当たり70(全国平均84)偏差値45)であったが、2014年に5339床(人口1万人当たり67(全国平均78)偏差値46)と、251床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には5063床(2025年の推計人口1万人当たり66)になることが予想される。



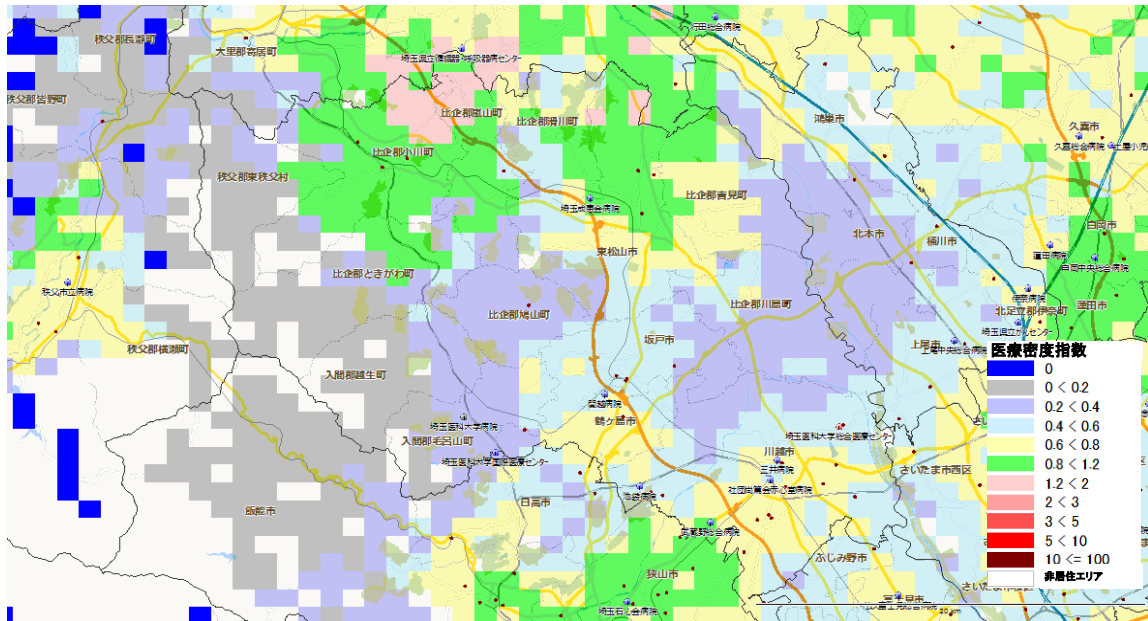
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2069床(75歳以上1000人当たり39(全国平均32)偏差値54)であったが、2014年に1919床(75歳以上1000人当たり22(全国平均21)偏差値51)と、150床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1754床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。



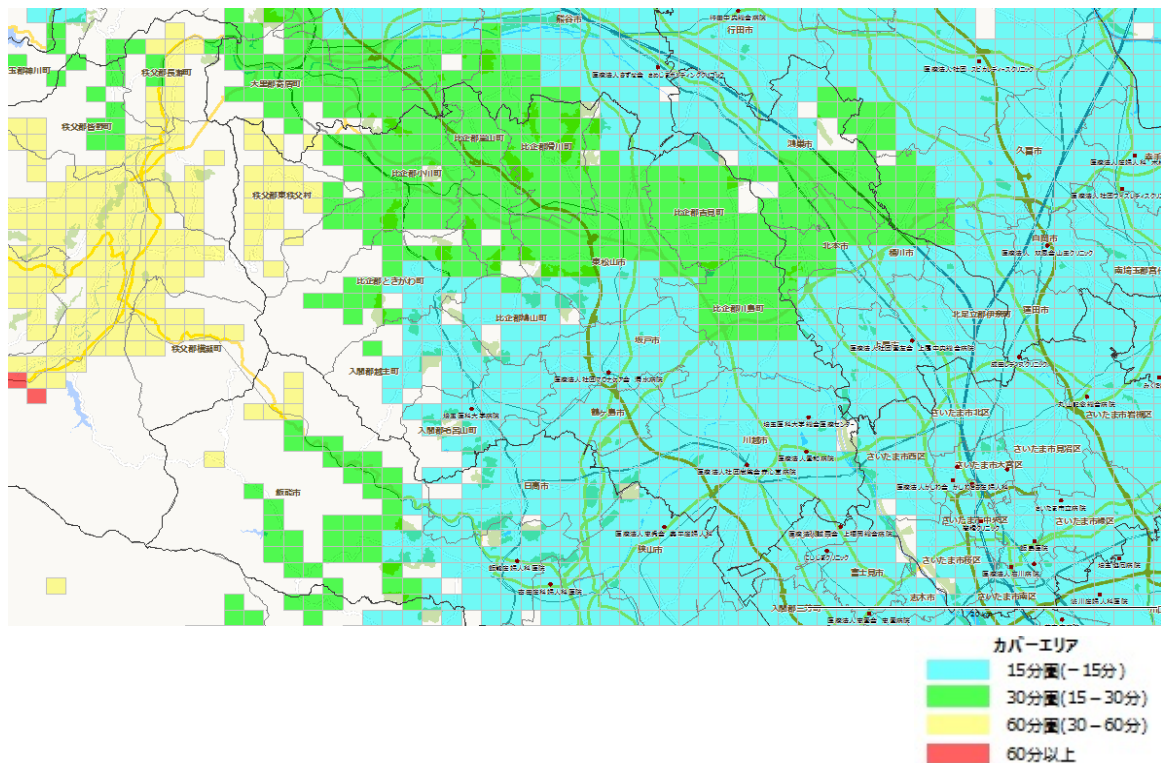
(川越比企医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表11-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表11-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

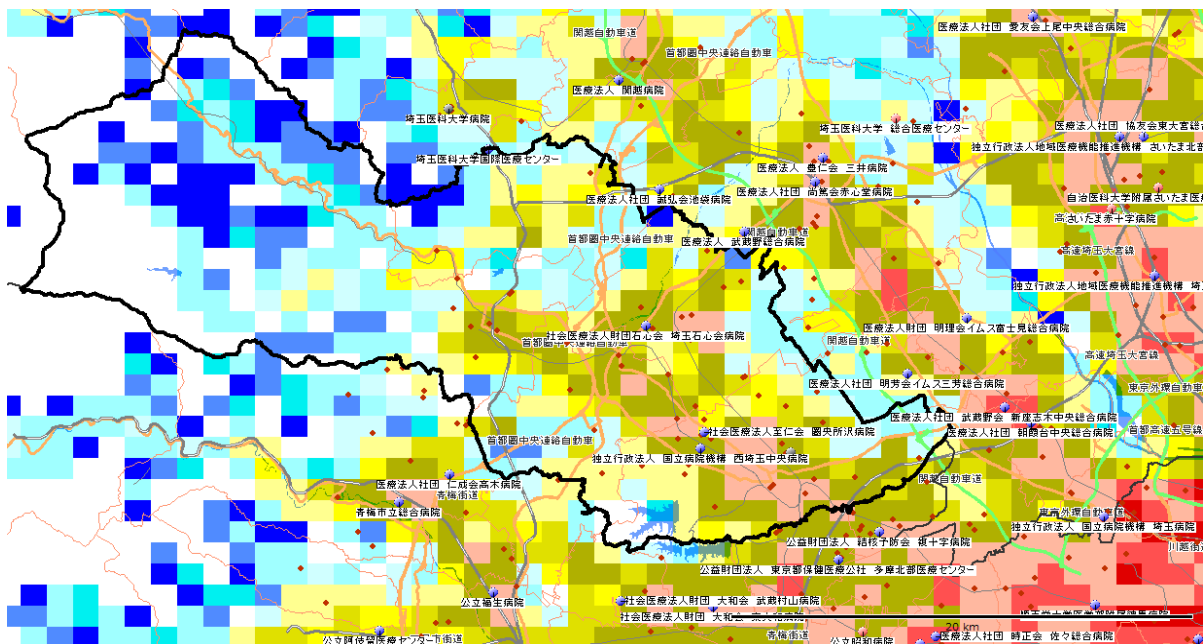
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



11-7. せいぶ西部医療圏

構成市区町村⁹ [所沢市](#) [飯能市](#) [狭山市](#) [入間市](#)
[日高市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区内人口(1平方キロ)



(西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など：西部(所沢市)は、総人口約778千人(2015年)、面積406km²、人口密度は1916人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測：西部の総人口は2025年に754千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に665千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の87千人が、2025年にかけて142千人へと増加し(2015年比+63%)、2040年には146千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費：西部の一人当たり医療費(国保)は312千円(偏差値43)、介護給付費は186千円(偏差値31)であり、医療費は低く、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度：西部の一人当たり急性期医療密度指数2は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数2は1.42で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状：総医師数3の偏差値が47(病院医師数49、診療所医師数43)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。

*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の埼玉医科大学国際医療センター(Ⅲ群・救命)、防衛医科大学校病院(I群・救命)、1000例以上の国立病院機構西埼玉中央病院(Ⅲ群)、埼玉石心会病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状：総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は37で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状：西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8913人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が5416床(偏差値51)、高齢者住宅等が3497床(偏差値49)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5897人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設55、有料老人ホーム53、軽費ホーム51、グループホーム38、サ高住52である。

*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、769人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測：2025年の介護充足度指数⁴は-46%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(西部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

西部医療圏の総人口は、2005年781229人が、2015年に778416人と1%未満減少し、2025年の人口が753821人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に18%増加し、2015年から2025年にかけて11%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

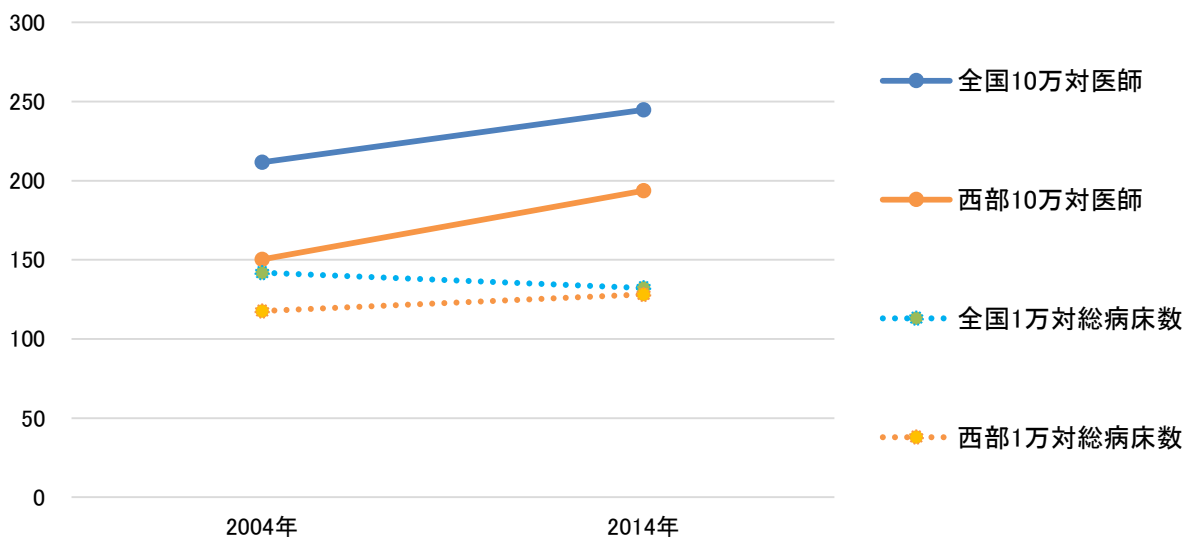
2004年の病院数が56(人口10万人当たり7.2病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に55(人口10万人当たり7.1病院(全国平均6.7)偏差値51)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が401(人口10万人当たり51診療所(全国平均76)偏差値38)であったが、2014年に423(人口10万人当たり54診療所(全国平均79)偏差値37)と、22診療所が増加した。

2004年の総病床数が9188床(人口1万人当たり118(全国平均142)偏差値46)であったが、2014年に9972床(人口1万人当たり128(全国平均132)偏差値49)と、784床の増加、率にして9%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

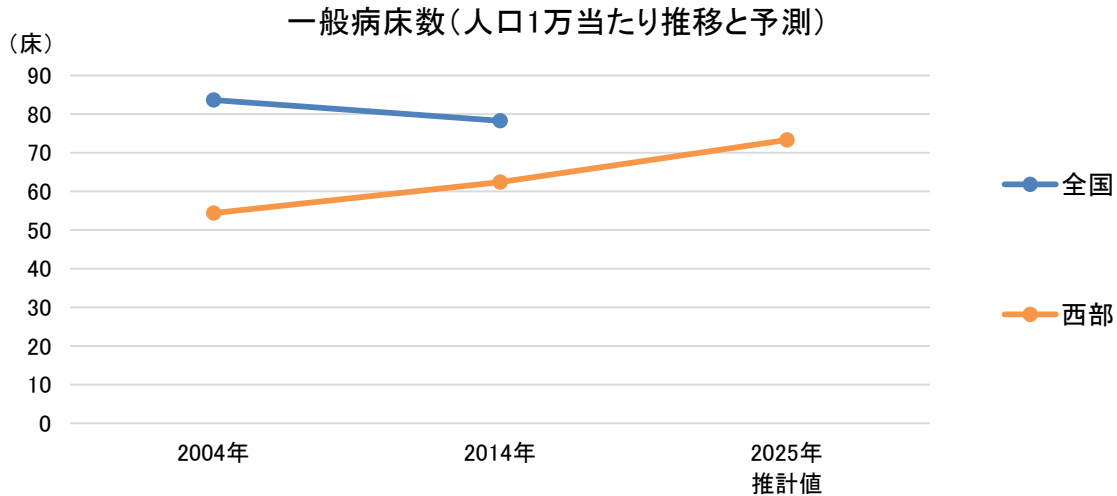
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1174人(人口10万人当たり150人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に1508人(人口10万人当たり194人(全国平均245人)偏差値45)と、334人の増加、率にして28%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



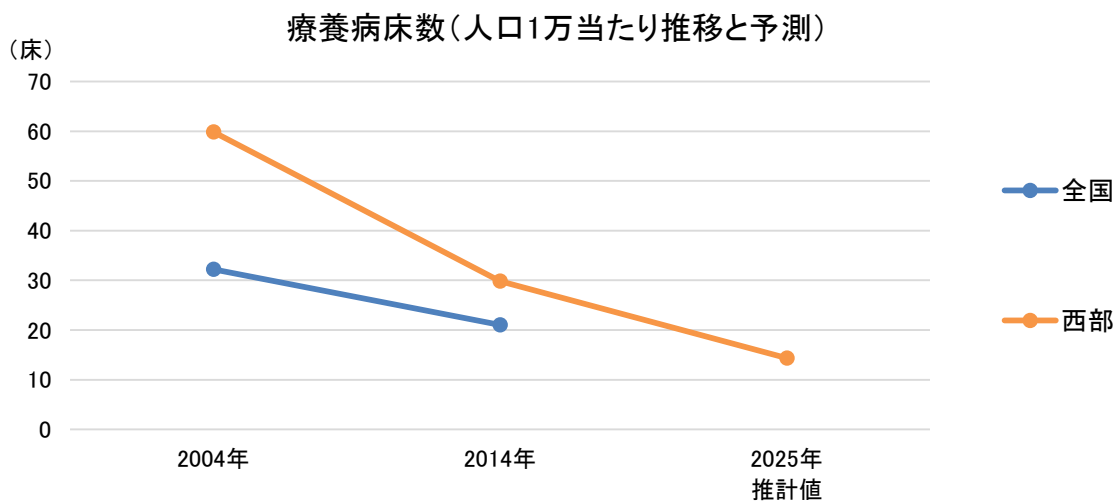
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4252床(人口1万人当たり54(全国平均84)偏差値40)であったが、2014年に4860床(人口1万人当たり62(全国平均78)偏差値44)と、608床の増加、率にして14%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には5529床(2025年の推計人口1万人当たり73)になることが予想される。



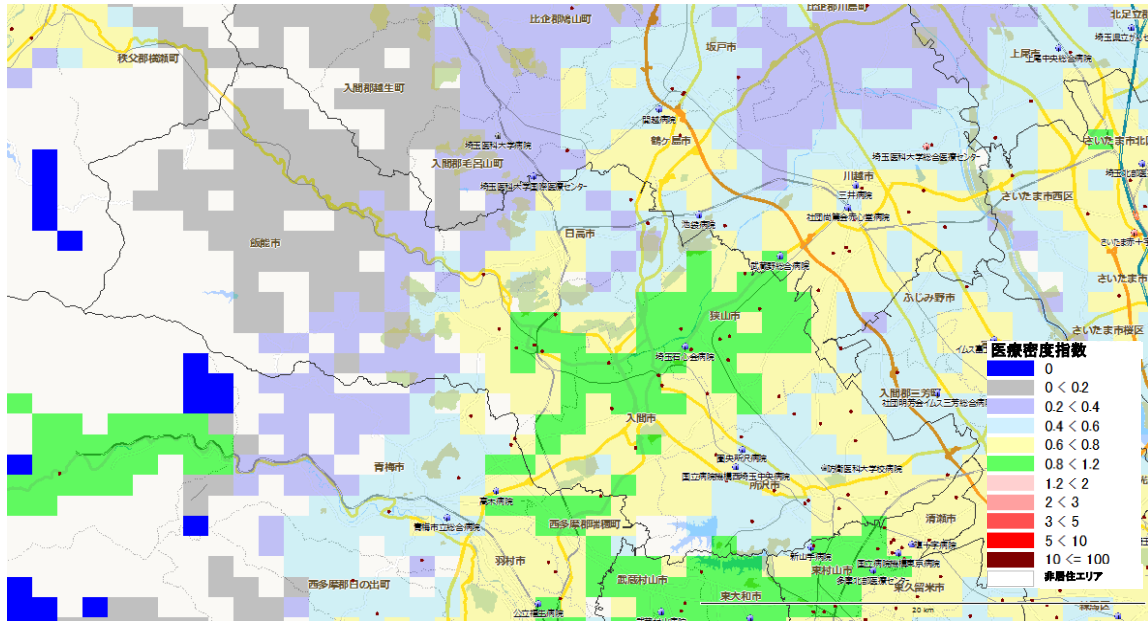
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3107床(75歳以上1000人当たり60(全国平均32)偏差値66)であったが、2014年に2595床(75歳以上1000人当たり30(全国平均21)偏差値57)と、512床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2032床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。



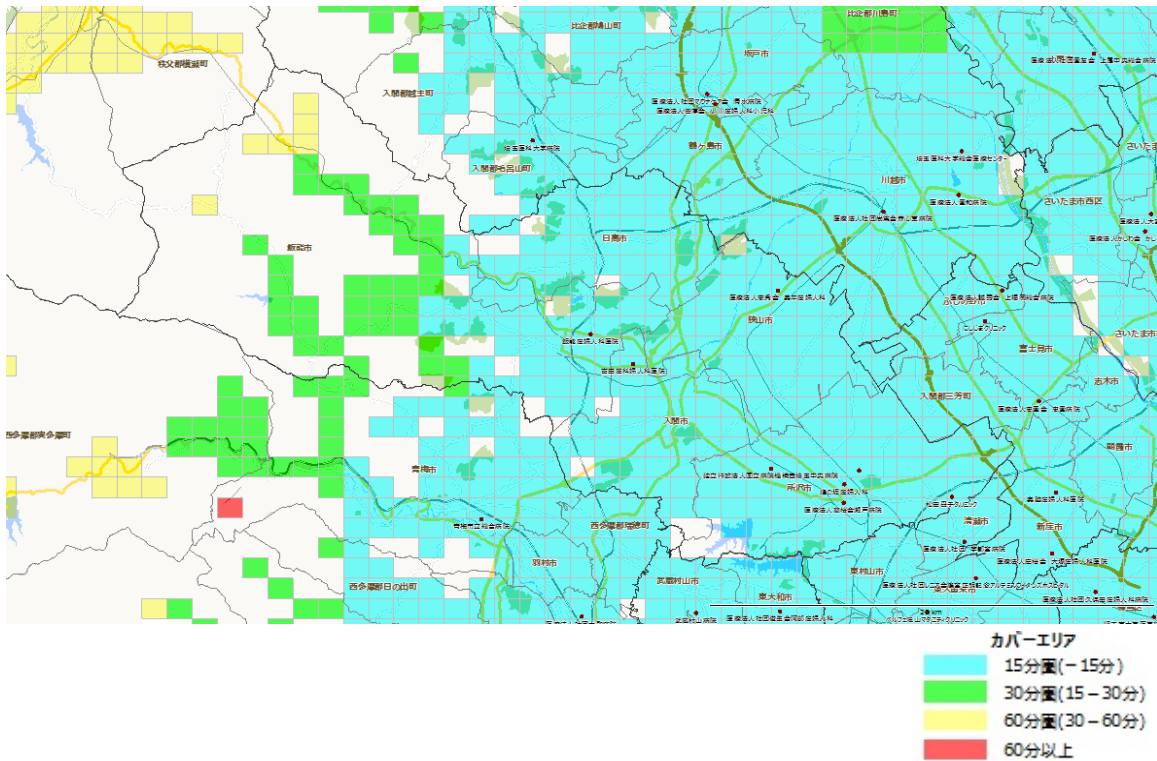
(西部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表11-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表11-7-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

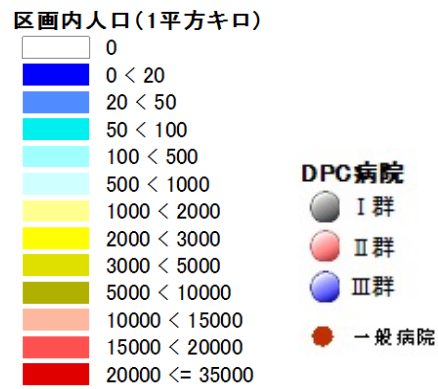
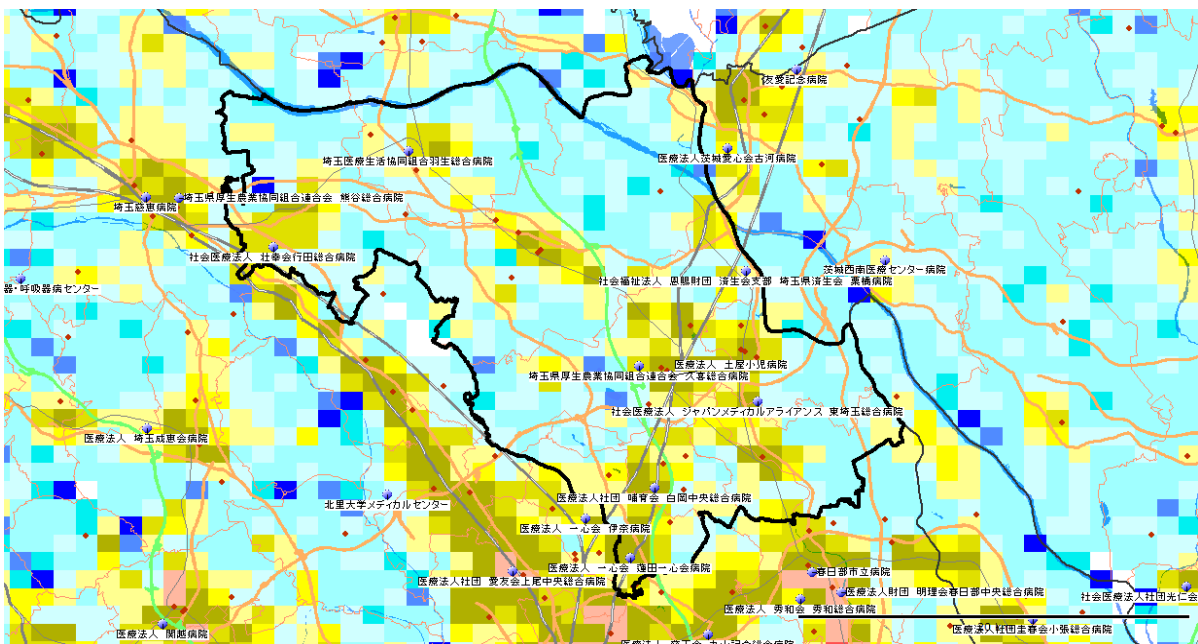
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



11-8. とね 利根医療圏

構成市区町村⁹ [行田市](#) [加須市](#) [羽生市](#) [久喜市](#)
[蓮田市](#) [幸手市](#) [白岡市](#) [宮代町](#)
[杉戸町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(利根医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 利根(行田市)は、総人口約647千人(2015年)、面積474km²、人口密度は1365人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 利根の総人口は2025年に604千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に510千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の75千人が、2025年にかけて113千人へと増加し(2015年比+51%)、2040年には112千人へと減少する(2025年比-1%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 利根の一人当たり医療費(国保)は337千円(偏差値48)、介護給付費は191千円(偏差値32)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 利根の一人当たり急性期医療密度指数²は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.58で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が36(病院医師数37、診療所医師数37)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は39と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。利根には、年間全身麻酔件数が500例以上の東埼玉総合病院(Ⅲ群)、蓮田病院(Ⅲ群)、羽生総合病院(Ⅲ群)、行田総合病院(Ⅲ群)、済生会栗橋病院(Ⅲ群)、久喜総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は35で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 利根の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8064人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が5359床(偏差値58)、高齢者住宅等が2705床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5810人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム67、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム50、軽費ホーム53、グループホーム45、サ高住45である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値42と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、624人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-26%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(利根医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

利根医療圏の総人口は、2005年662824人が、2015年に647166人と2%減少し、2025年の人口が604461人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に16%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

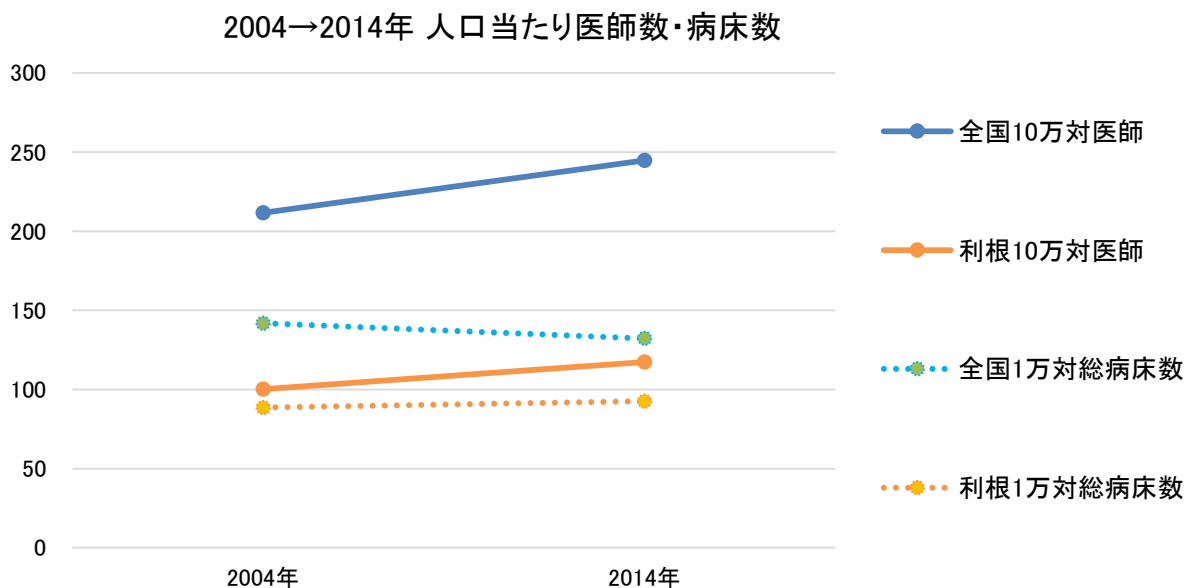
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が34(人口10万人当たり5.1病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2014年に33(人口10万人当たり5.1病院(全国平均6.7)偏差値46)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が318(人口10万人当たり48診療所(全国平均76)偏差値36)であったが、2014年に332(人口10万人当たり51診療所(全国平均79)偏差値35)と、14診療所が増加した。

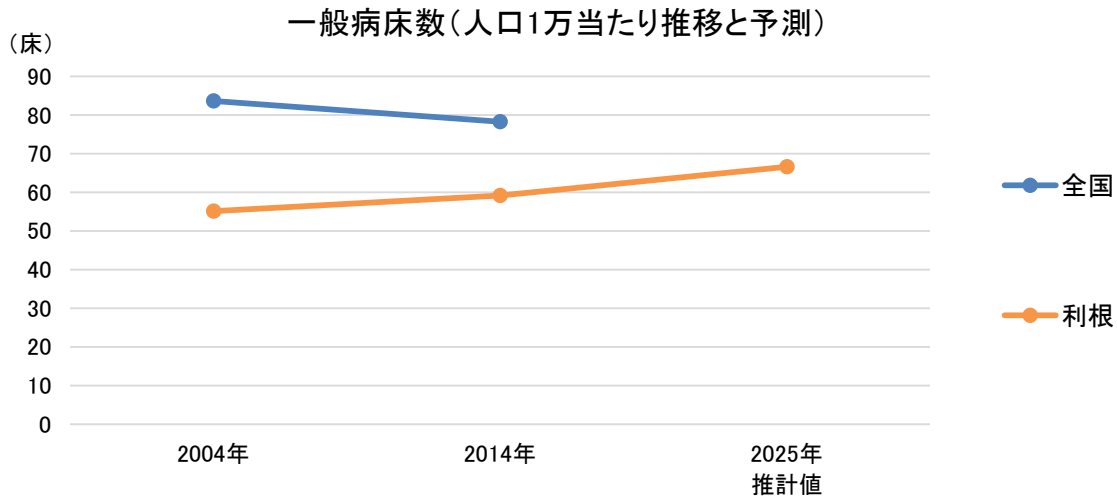
2004年の総病床数が5870床(人口1万人当たり89(全国平均142)偏差値40)であったが、2014年に5989床(人口1万人当たり93(全国平均132)偏差値43)と、119床の増加、率にして2%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が664人(人口10万人当たり100人(全国平均212人)偏差値37)であったが、2014年に760人(人口10万人当たり117人(全国平均245人)偏差値36)と、96人の増加、率にして14%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



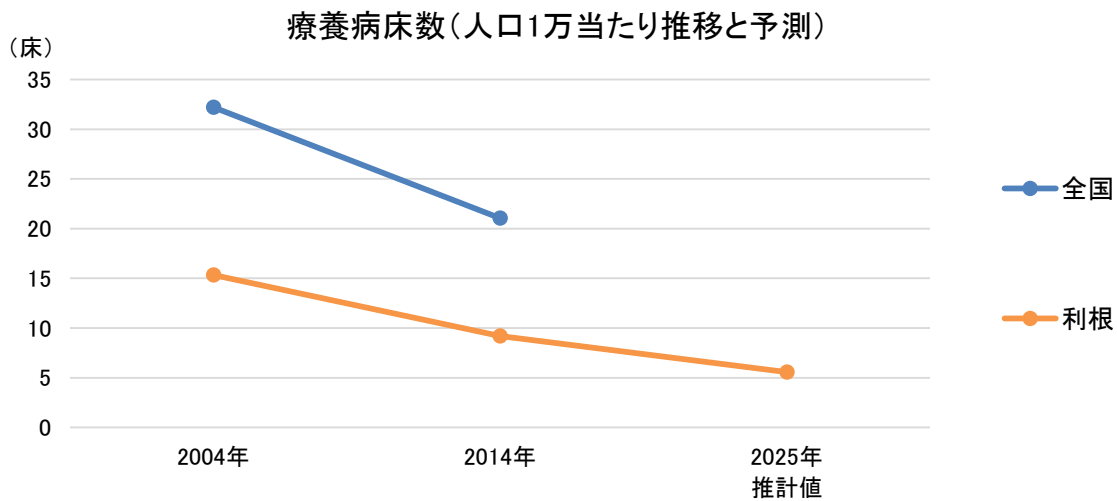
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3653床(人口1万人当たり55(全国平均84)偏差値40)であったが、2014年に3831床(人口1万人当たり59(全国平均78)偏差値43)と、178床の増加、率にして5%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には4027床(2025年の推計人口1万人当たり67)になることが予想される。



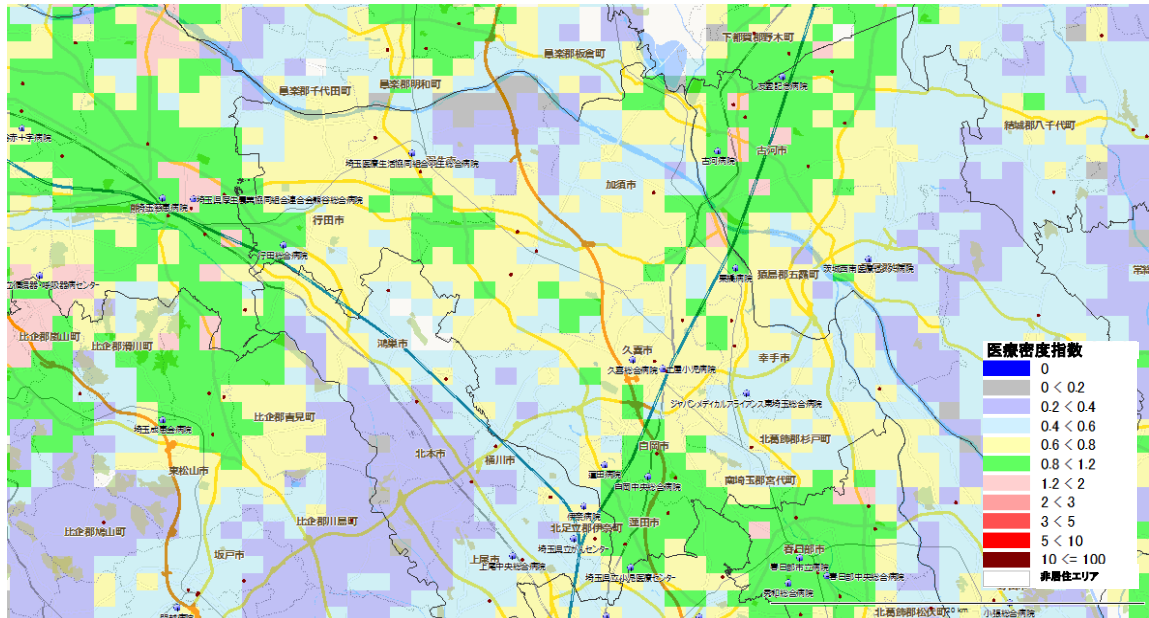
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が742床(75歳以上1000人当たり15(全国平均32)偏差値40)であったが、2014年に689床(75歳以上1000人当たり9(全国平均21)偏差値40)と、53床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には631床(2025年の推計75歳以上1000人当たり6)になることが予想される。



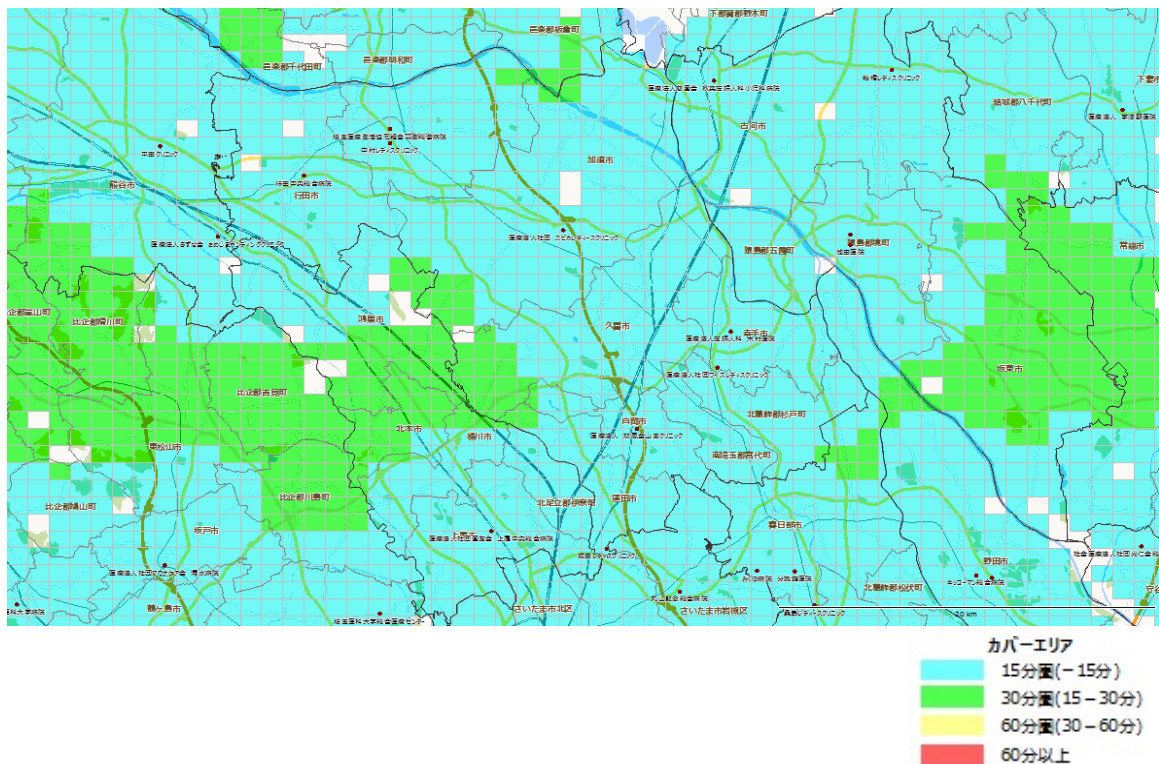
(利根医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表11-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表11-8-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

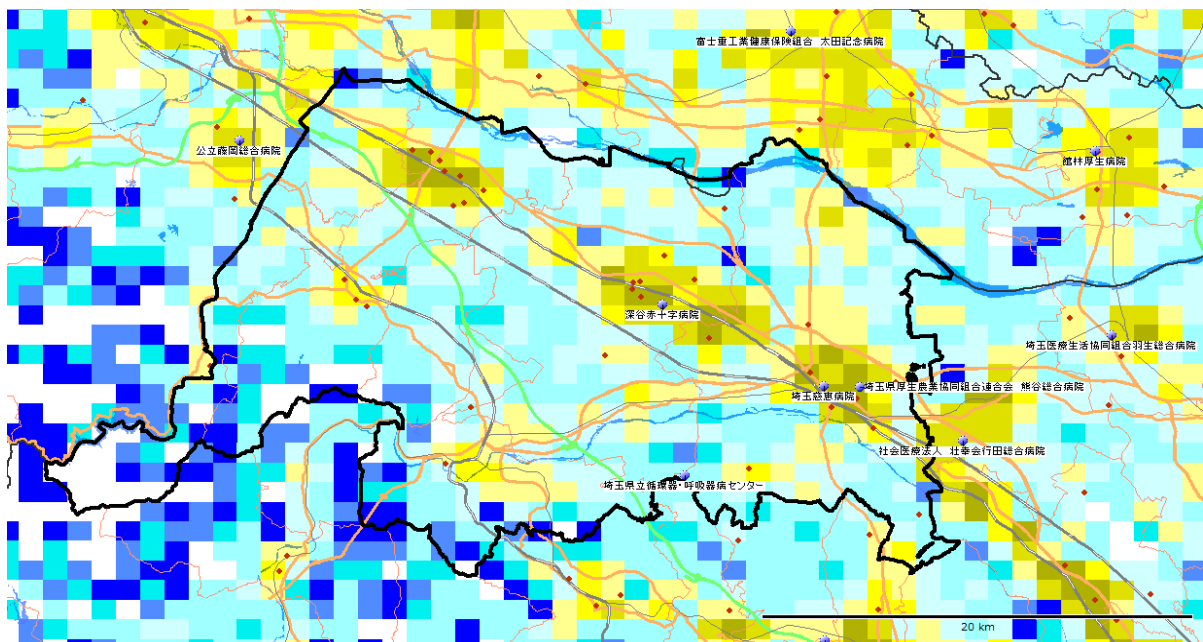
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



11-9. ほくぶ 北部医療圏

構成市区町村⁹ [熊谷市](#) [本庄市](#) [深谷市](#) [美里町](#)
[神川町](#) [上里町](#) [寄居町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

(北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 北部(熊谷市)は、総人口約510千人(2015年)、面積562km²、人口密度は907人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 北部の総人口は2025年に478千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に409千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の61千人が、2025年にかけて84千人へと増加し(2015年比+38%)、2040年には87千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北部の一人当たり医療費(国保)は326千円(偏差値46)、介護給付費は230千円(偏差値44)であり、医療費はやや低く、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 北部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.77、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.77で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が39(病院医師数38、診療所医師数42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は41と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。北部には、年間全身麻酔件数が1000例以上の深谷赤十字病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の埼玉県立循環器・呼吸器病センター(Ⅲ群)、熊谷総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値41と少なく、回復期病床数は偏差値42と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7962人(75歳以上1000人当たりの偏差値66)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4286床(偏差値57)、高齢者住宅等が3676床(偏差値61)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5258人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム62、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム50、軽費ホーム68、グループホーム52、サ高住68である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、586人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-8%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(北部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

北部医療圏の総人口は、2005年528034人が、2015年に510017人と3%減少し、2025年の人口が477922人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

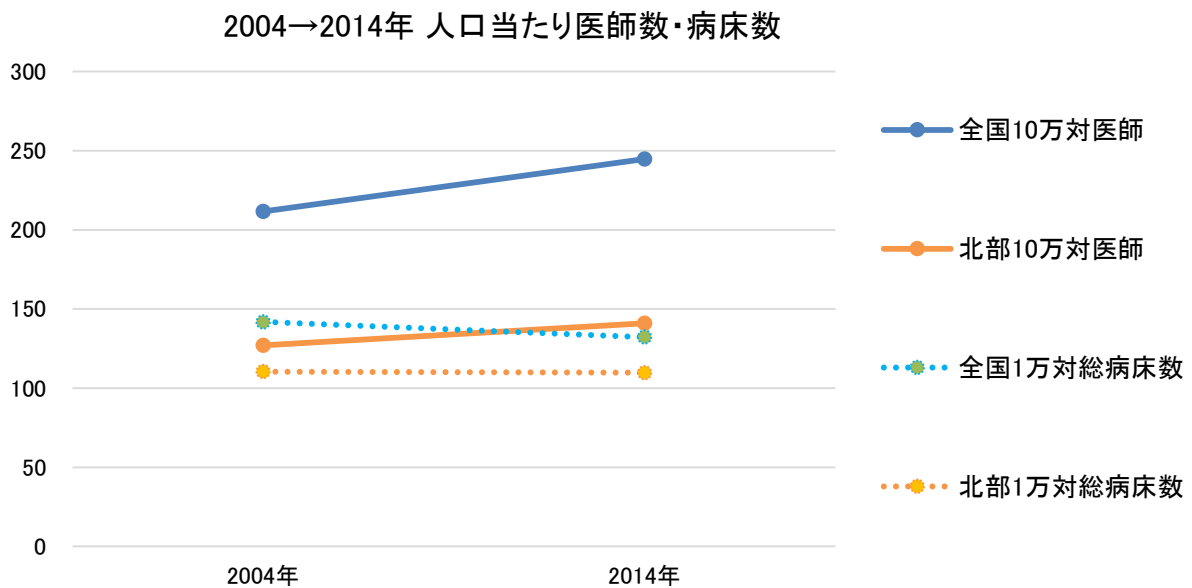
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が35(人口10万人当たり6.6病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2014年に34(人口10万人当たり6.7病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が345(人口10万人当たり65診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に369(人口10万人当たり72診療所(全国平均79)偏差値46)と、24診療所が増加した。

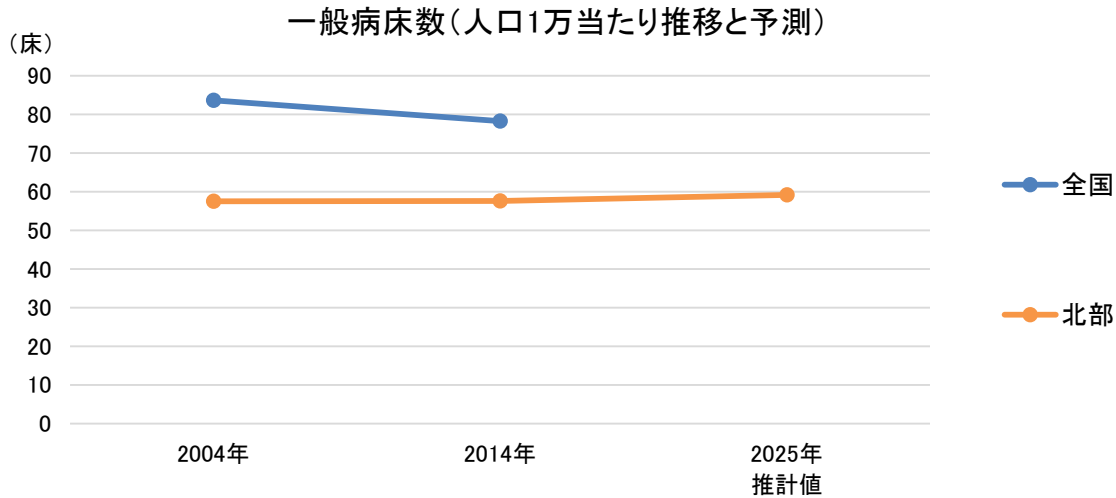
2004年の総病床数が5833床(人口1万人当たり110(全国平均142)偏差値44)であったが、2014年に5595床(人口1万人当たり110(全国平均132)偏差値46)と、238床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が671人(人口10万人当たり127人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に719人(人口10万人当たり141人(全国平均245人)偏差値39)と、48人の増加、率にして7%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



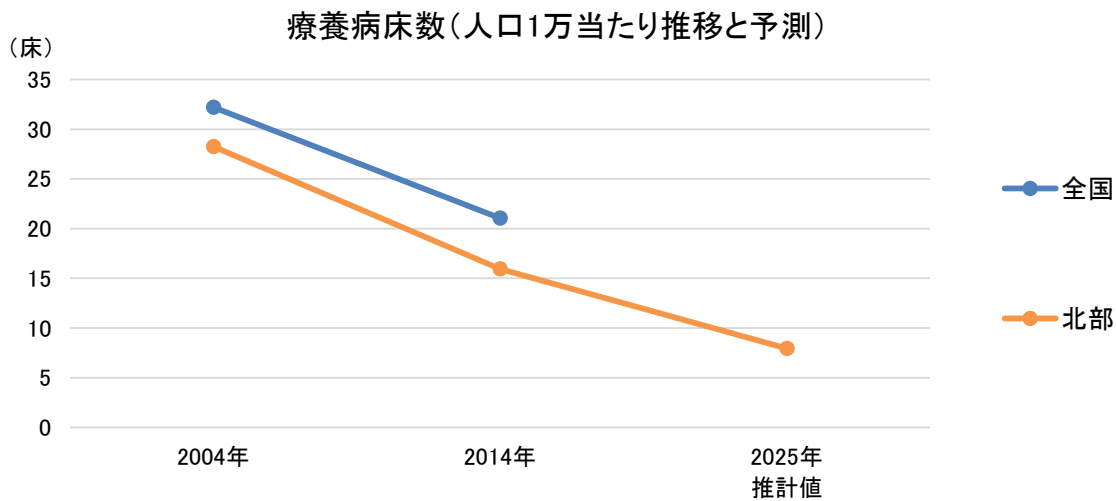
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3038床(人口1万人当たり58(全国平均84)偏差値41)であったが、2014年に2939床(人口1万人当たり58(全国平均78)偏差値42)と、99床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2830床(2025年の推計人口1万人当たり59)になることが予想される。



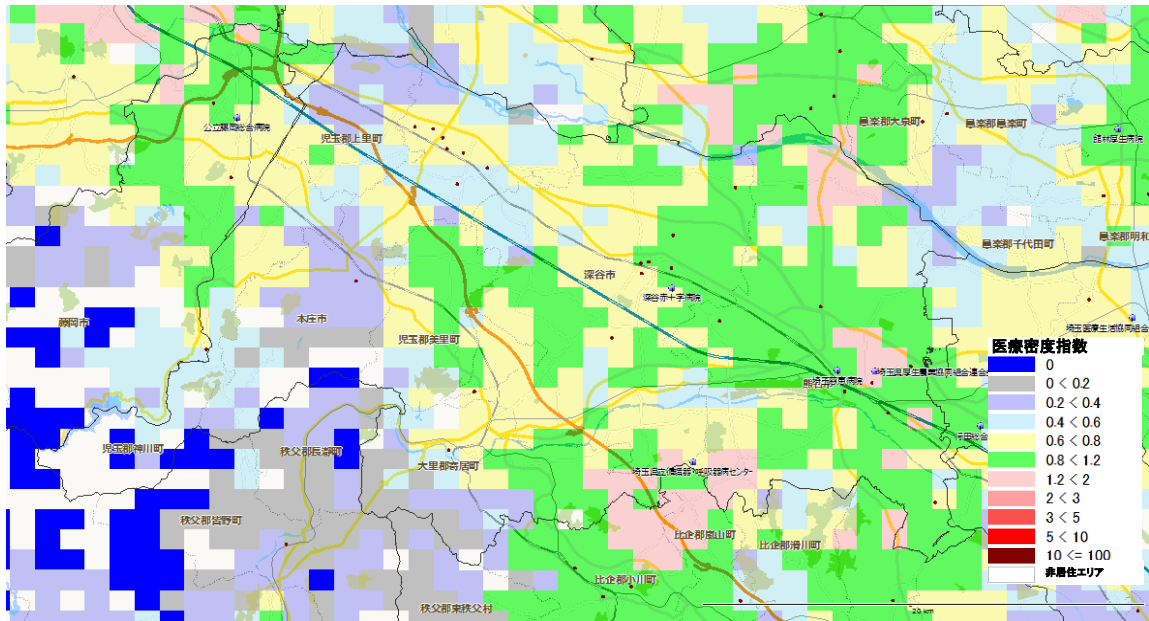
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1256床(75歳以上1000人当たり28(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に975床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値46)と、281床の減少、率にして22%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には666床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。



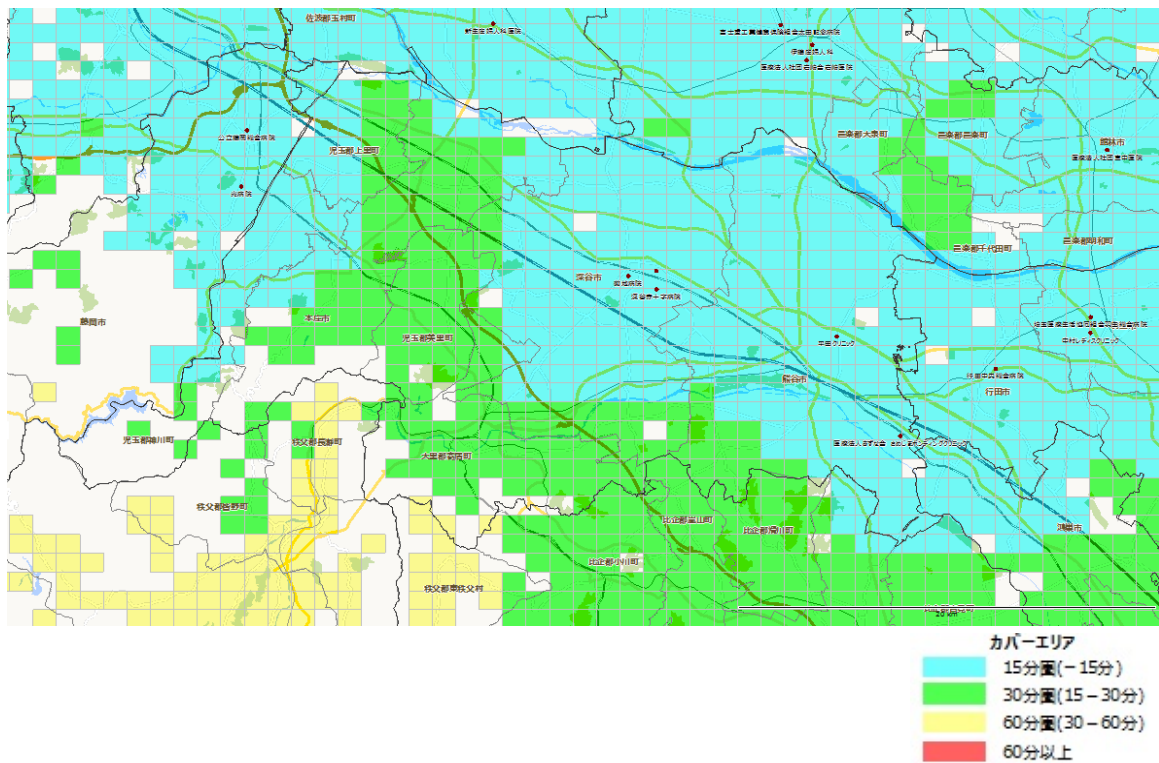
(北部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表11-9-1 急性期医療密度指数マップ



図表11-9-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

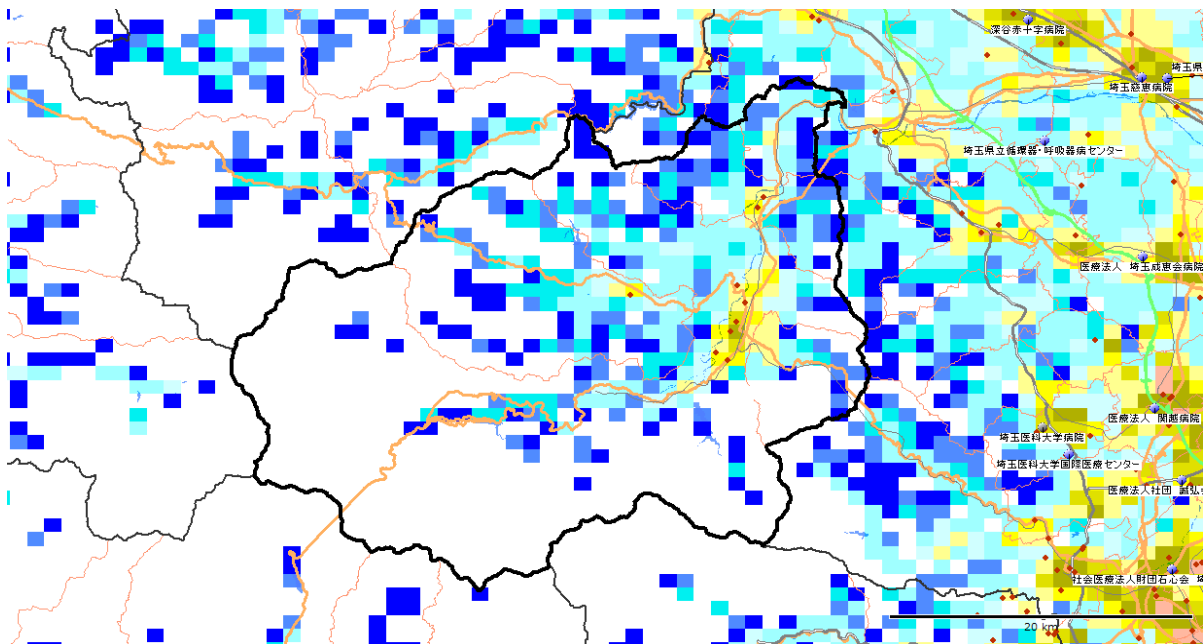
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



11-10. ちちぶ秩父医療圏

構成市区町村⁹ [秩父市](#) [横瀬町](#) [皆野町](#) [長瀬町](#)
[小鹿野町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(秩父医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 秩父(秩父市)は、総人口約102千人(2015年)、面積893km²、人口密度は114人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 秩父の総人口は2025年に89千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に70千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の17千人が、2025年にかけて18千人へと増加し(2015年比+6%)、2040年には18千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 秩父の一人当たり医療費(国保)は344千円(偏差値50)、介護給付費は247千円(偏差値48)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 秩父の一人当たり急性期医療密度指数²は0.43、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.81で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が41(病院医師数37、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は41と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は39で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は37と少ない。秩父には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は43で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 秩父の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1749人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1264床(偏差値61)、高齢者住宅等が485床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1520人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム65、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム46、軽費ホーム57、グループホーム47、サ高住37である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値36と少ない。介護職員(在宅)の合計は、128人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+10%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰さみである。

(秩父医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

秩父医療圏の総人口は、2005年114596人が、2015年に101648人と11%減少し、2025年の人口が88927人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

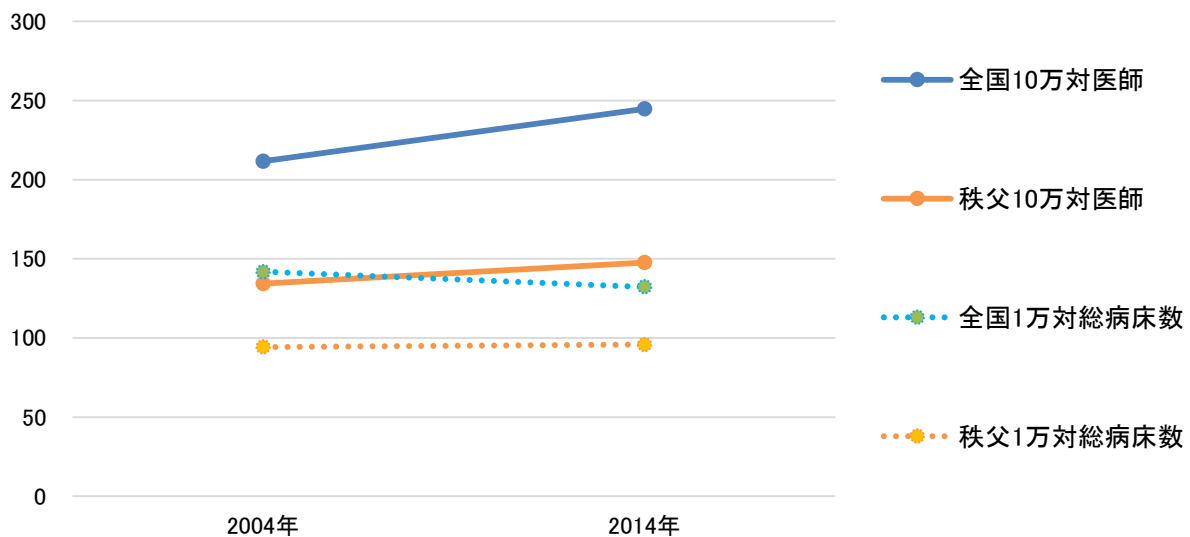
2004年の病院数が10(人口10万人当たり8.7病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に9(人口10万人当たり8.9病院(全国平均6.7)偏差値55)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が87(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2014年に86(人口10万人当たり85診療所(全国平均79)偏差値53)と、1診療所が減少した。

2004年の総病床数が1081床(人口1万人当たり94(全国平均142)偏差値42)であったが、2014年に974床(人口1万人当たり96(全国平均132)偏差値44)と、107床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

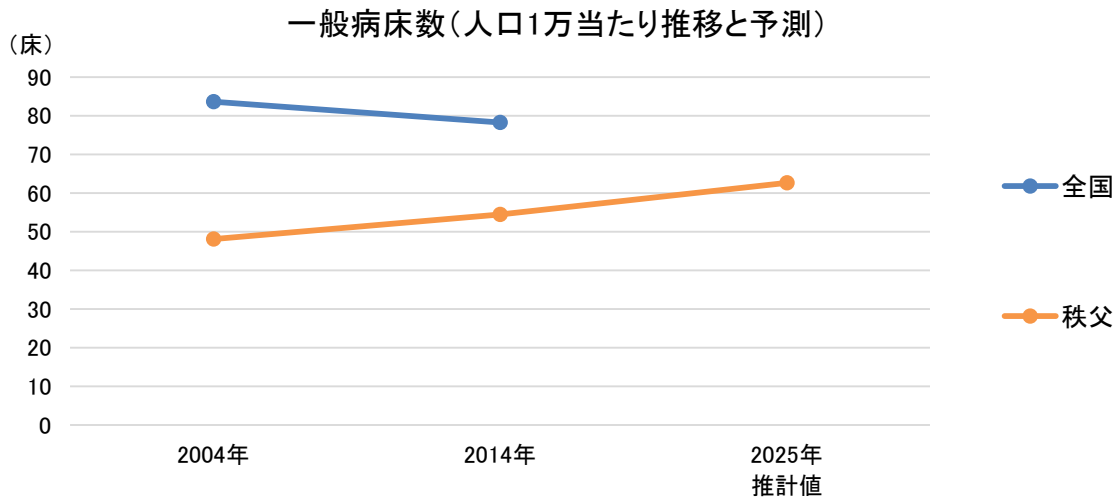
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が154人(人口10万人当たり134人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に150人(人口10万人当たり148人(全国平均245人)偏差値40)と、4人の減少、率にして3%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



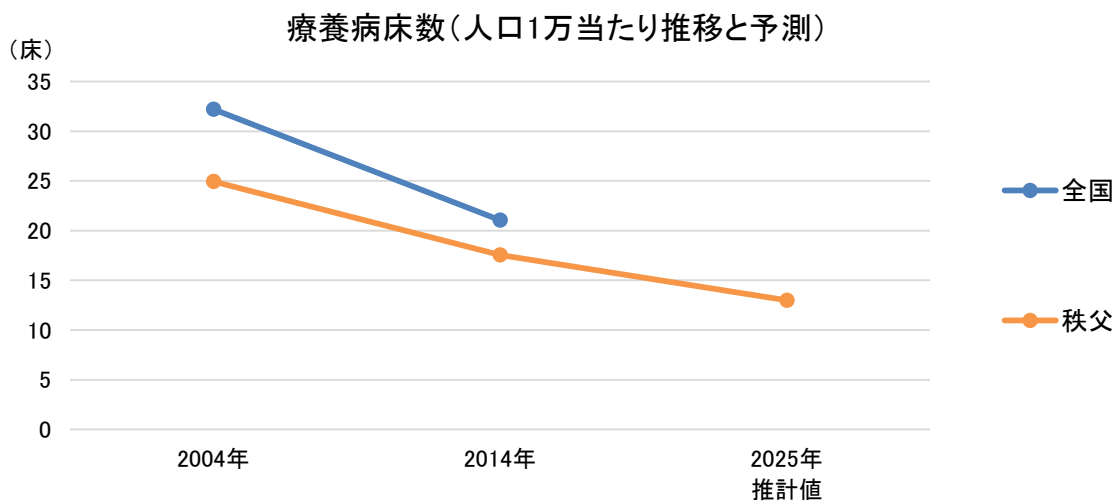
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が551床(人口1万人当たり48(全国平均84)偏差値37)であったが、2014年に554床(人口1万人当たり55(全国平均78)偏差値41)と、3床の増加、率にして1%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には557床(2025年の推計人口1万人当たり63)になることが予想される。



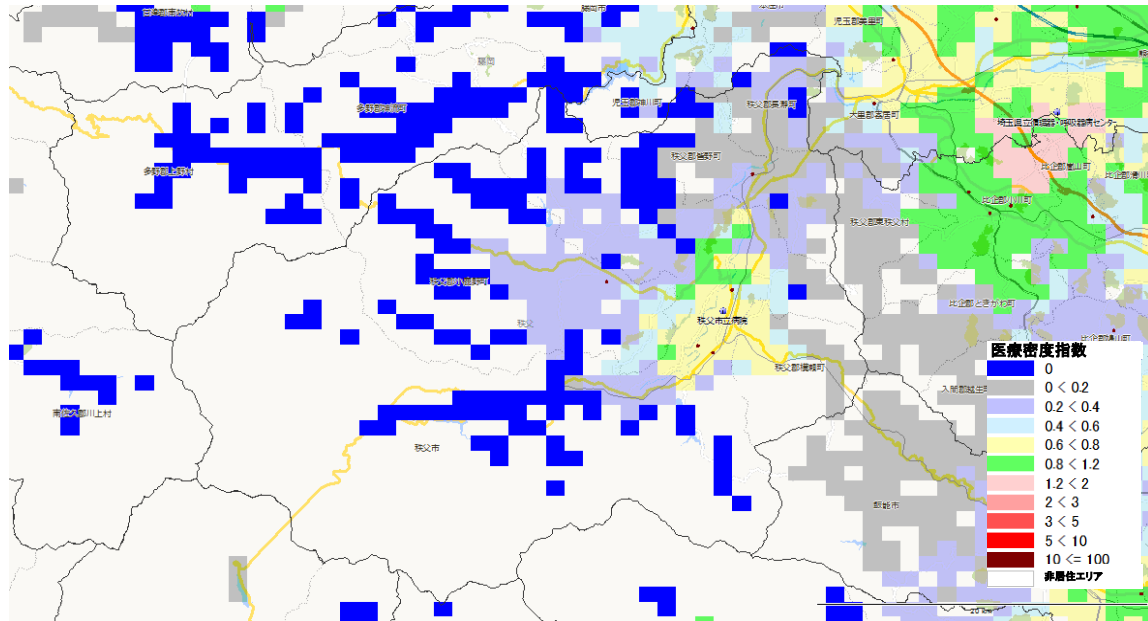
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が350床(75歳以上1000人当たり25(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に297床(75歳以上1000人当たり18(全国平均21)偏差値47)と、53床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には239床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。



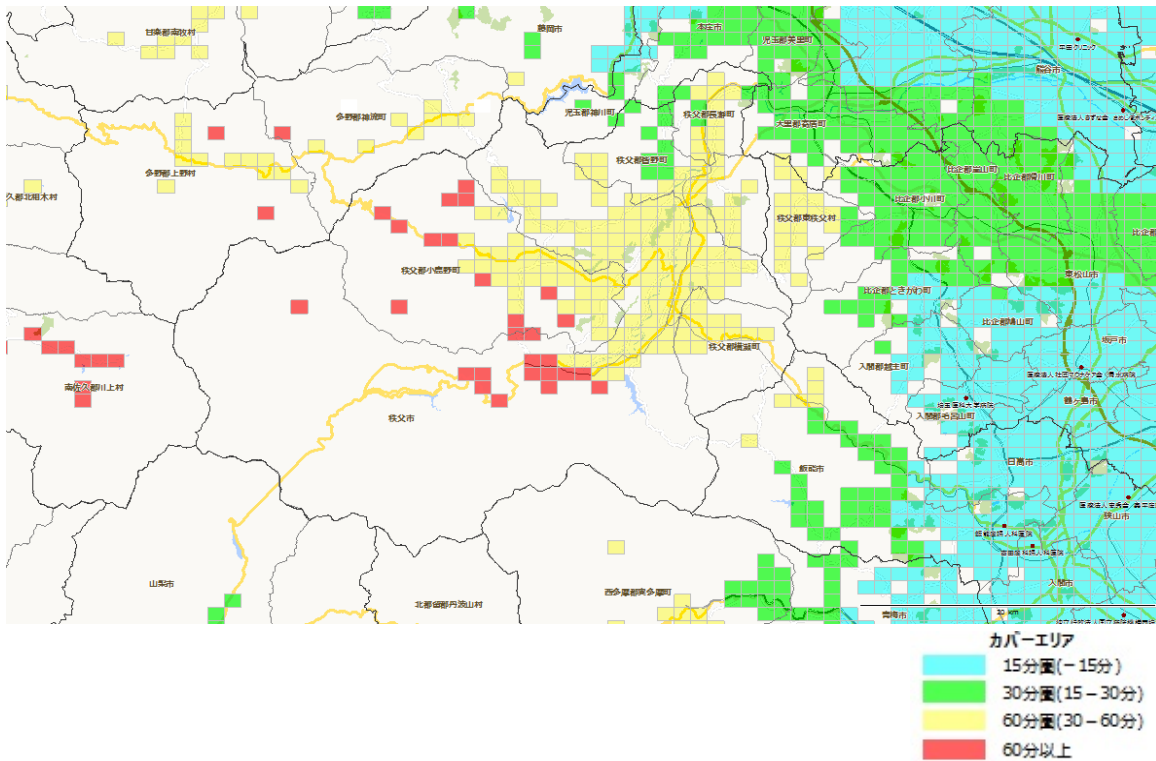
(秩父医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表11-10-1 急性期医療密度指数マップ



図表11-10-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



11.埼玉県(2017年版)

注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸医療需要は(0~64歳人口) + (65~74歳人口) × 3.1 + (75歳以上人口) × 5.0で算出。

⁹日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。